

2025年度
第一回通常総会資料

2025年1月18日(土)

鳩山町ふれあいセンター



JCI Creed

We Believe

That faith in God gives meaning and purpose to human life ;

That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations ;

That economic justice can best be won by free men through free enterprise ;

That government should be of laws rather than of men ;

That earth's great treasure lies in human personality ;

and That service to humanity is the best work of life.

日本語意識

我々はかく信じる

真理は人生に意義と目的を与え

人類の同胞愛は国家による統治を超越し

公正な経済は我々の自由な経済活動によってこそ果たされ

政府には人治ではなく法治が必要であり

人間の個性はこの世の至宝であり

人類への奉仕が人生最大の使命である

JCI Creed の解説

JCI Creedは1946年、当時、オハイオ州コロンバス市の新入会員であったビル・ブラウンフィールド氏が初めて参加したミルウォーキーでの全国会員大会から帰る途中に作成され、翌年、アメリカJCで正式に採択されました。そして、1951年に「Faith in God」という語句が冒頭につけ加えられました。

JCI Creedは「彼らが住んでいる世界をより良くしようとする若者の心に存在する精神の完全なる表現」として引用されています。しかし、JCI Creedは世界的なJC運動の基盤であるにもかかわらず、会員の中にはこれを誤解しているものもあるということから、草案者ブラウンフィールド氏によるJCI Creedの解釈が語られました。

～以下、「BIBLE OF JAYCEE(P177)」より抜粋～

「各JCは自分の良心に照らして綱領を解釈する自由がある。だから私も綱領が私にとって何を意味するかを説明する時、自分自身のために話すわけである。」

JCI Mission

To provide leadership development opportunities
that empower young people to create positive change.

日本語意識

青年会議所は、青年が社会により良い変化をもたらすために
リーダーシップの開発と成長の機会を提供する。

JCI Vision

To be the foremost global network of young leaders.

日本語意識

青年会議所が、若きリーダーの国際的ネットワークを
先導する組織となる。

JCI Mission の解説

●(2022年)改定のポイント

2022世界会議香港大会の総会にて、JCIが「Leadership Development Opportunities(リーダーシップの開発と成長の機会)」をいかに重視しているかを正確に示すためにミッションが再定義されました。JCIは、変化する世界に対応するリーダーを育成する組織であるということがより明確に示されました。

●JCI Mission とは

JCI Missionとは、我々、青年会議所の「使命」です。

青年が社会により良い変化をもたらす力、つまり運動を起こすことができるようになるために、青年会議所では「リーダーシップ」の開発と成長の機会を提供します。

●leadership development: リーダーシップの開発とリーダーシップの成長

開発とは、メンバーのリーダーシップ能力を引き出すことです。そして、成長とはその能力をさらに伸ばしていくことです。「リーダーシップ」とは、目的思考と行動力を兼ね備え、周囲の人々へ影響力を発揮することです。これらの能力の開発と成長の機会を得ることによって、青年が社会により良い変化をもたらします。また、メンバーがJCIに入学していることを誇りに感じることができるようにします。

●positive change: より良い変化

メンバーが起こすべき変化は、常に最善を求め、現状よりも良い社会を創造することです。より良い変化をもたらす力、すなわち「運動を作ることができる力」を青年が持つということです。青年として意義と目的を持ち、全世界が直面する大きな試練を乗り越えていかなければなりません。

JCI Vision の解説

●(2022年)改定のポイント

2022世界会議香港大会の総会にて、JCIが世界で偉大なことを成し遂げようとする若いリーダーたちの、最高、最大、かつ最も影響力のある組織になるというビジョンが示されました。つまり、青年会議所が若きリーダーを世界的に繋げ、国際的ネットワークを形成することに最も影響力のある組織であるということを強調するために、「leading」という単語から「foremost」という単語に変更されました。

●JCI Vision とは

JCIは全世界が直面する大きな試練を乗り越えようとする変革の最前線に立つ若きリーダーたちにとって、最も影響力のある国際的ネットワークを先導する組織になることを目指しています。

●global network: 国際的ネットワーク

国際的ネットワークとは、世界で偉大なことを成し遂げようとする変革の最前線に立つ若きリーダーたちの、国境を超えた世界的なネットワークのことです。

●the foremost global network: 国際的ネットワークを先導する

「the」とは唯一無二を指します。

青年会議所は、国際的ネットワーク(世界で偉大なことを成し遂げようとする変革の最前線に立つ若きリーダーたち)を先導する他に無い「唯一無二」の存在になるということが、青年会議所が目指す組織像です。

JC 宣言文

日本の青年会議所は
希望をもたらす変革の起点として
輝く個性が調和する未来を描き
社会の課題を解決することで
持続可能な地域を創ることを誓う

綱領

我々 JAYCEE は
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者、相集い、力を合わせ
青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

JC 宣言文の解説

●第1節「日本の青年会議所は」(主語)

「青年会議所は」と明示することで、この宣言文が会員個人ではなく、「組織」としての宣言であることを示しています。また、「日本の」とすることで、国内における全ての青年会議所がJC宣言文の主語であることを明示し、志を同じくする全国の会員同士の強い「連帯」も表現しています。

●第2節「希望をもたらす変革の起点として」(組織の在り方)

青年会議所は、明るい豊かな社会を創るために、社会により良い変化を生み出す「変革」を運動として起こすことに挑戦し続けてきました。物事のはじまりを意味する「起点」は、青年会議所が「率先して行動する組織(Do tank)」であれという矜持を表現し、私達から社会変革を生み出していくという意志も表しています。そして、その運動によって生み出すものの本質は、誰もが、社会と自らの人生をより良くすることができると実感する「希望」であることを示しています。

●第3節「輝く個性が調和する未来を描き」(時代背景)

昨今の潮流の中で、グローバリズムからナショナリズムへ、また利他から利己へと、行き過ぎた国家主義や個人主義が助長されています。

本来であれば、考え方や生き方の違いは二項対立の構図ではなく、多様性や包括性といった価値観の中で、異なる「個性」として尊重されるべきものです。

「調和」は、同調を強要し個性を抑圧するものではありません。「人間の個性はこの世の至宝である」と信じる青年会議所は、特定の政治思想にも、また、ナショナリズムや宗教や人種、ジェンダーにも偏らず、あらゆる若者が挑戦できる社会に関わられた組織であるからです。

この様に、広がりがつある「分断」の時代において、様々な個性やアイデンティティの架け橋となる「未来を描く」強い意志を示しています。

●第4節「社会の課題を解決することで」(手法)

青年会議所は「社会に対して何をやる組織なのか?」という問いに対する明確な答えを表しています。地域に根差す青年会議所の運動は、社会の幅広い課題を抽出し、自らそれを解決することと位置付けています。「社会の課題」とは、地域固有の課題だけではなく、経済の再生や少子化、高齢化といった国家的な課題、あるいは気候変動や人権問題といった国際的な課題を含み、およそ青年が取り組むべき様々な課題を包括しています。どの様な社会課題であっても、それは地域だけではなく国家や世界と複雑に関係合っているからです。だからこそ、私たちは、多面的な「社会課題」を解決する運動を地域毎に起こし、そして、私たちが持つ組織のネットワークによって全国、あるいは世界的な運動へと拡大させ、より良い社会を創り出すことができることを表しています。

●第5節「持続可能な地域を創ることを誓う」(目的)

日本の青年会議所は、1990年に「地方分権推進宣言」を、さらに、2019年には「SDGs推進宣言」を総会で決議しました。「持続可能」とは、地域の人口や財政、環境を持続可能なものとするに留まらず、そこに住む全ての人々が笑顔で生きがいを持ち、自ら挑戦し続けることができる社会を意味します。全国各地の青年会議所が様々な社会課題を解決することで、自らが住まう地域を持続可能なものとし、そしてその総和によって「明るい豊かな社会」を創ることを誓う形で宣言しています。

綱領の解説

JAYCEEの意志を統一し、日本青年会議所のあり方を再認識するため、1960年に日本独自のものとしてJC綱領が制定されました。この綱領は、青年会議所としての理念を確立し、JAYCEEの運動目標を明確に位置づけたもので、4節で構成されています。

●第1節「社会的・国家的・国際的な責任を自覚し」

地域社会、国家としての日本、そして国際規模の活動というJCのあるべき立場を明確にしています。

●第2節「志を同じうする者、相集い、力を合わせ」

同じ考え方、立場にある人達が集まり、その力を集結してことにあたるという行動指針です。

●第3節「青年としての英知と勇気と情熱をもって」

若者らしいその行動には、英知と勇気と情熱をもってあたるべきであることを説いています。

●第4節「明るい豊かな社会を築き上げよう」

JC運動の目標を示しています。

■関東地区宣言

わたしたちは 日本の礎として

あらゆる未来をみつめ

多様性溢れる 仲間と共鳴し

新たな価値の創造により

新時代の旗手となることを誓う

公益社団法人 比企青年会議所 『比企まちづくり宣言』

我々は、**比企**に住み、**比企**を愛し、これからも**比企**に住み続けたいと願っています。

そんな**我々の比企**が明るく活気づき魅力あふれる地域となるためには、我々一人一人が主体的・積極的な意識をもち行動しなければならないのです。

今こそ、**我々の比企**のため、**比企**はひとつの掛け声のもと、**比企**の地域性を磨き輝かせるために、我々の行動指針とすべく、ここに『比企まちづくり宣言』をします。

一、『自覚』

我々は、我々こそが この愛すべき**比企**の地を、活気と魅力にあふれる地域とするための主体者であることを強く自覚します。

一、『実践』

我々は、歴史と伝統あるこの**比企**の地域性を受け継ぎ、そして新たな文化・伝統を創造するために、常に 主体的・積極的に 地域において活動します。

一、『触発』

我々は、その自覚と実践を通して、**比企**に住まう多くの仲間呼びかけ、意識の共有を図ります。

一、『共創』

我々は、**比企**に住まう一人一人と協調することにより、**比企**の新たな地域性を創造し、オンリーワンの比企を創りあげます。

君が代

君が代は
千代に八千代に
さらされ石の
塵となりて
苔のむすまで

J C ソング
一、J C J C J C

世界を結ぶ 若き団結

新しき世紀の 希望となりて

永遠に輝栄えん 我等の集い

二、J C J C J C

奉仕の理想 探求めつつ

祖国の進歩の 力となりて

先驅けゆかん 我等の集い

若い我等

一、若い我等が 手を取り合つて

進む行手の 青い空に

輝く J C 明るい希望

足なみをそろえて

行こうじゃないか

二、世界を結ぶ 若さの力

互に尽す 美しさこそ

J C の理想だ 新しい日だ

足なみをそろえて

行こうじゃないか

三、若い我等の 心を集め

つくる集いに 未来をかけて

J C の仲間には 皆借じあう

足なみをそろえて

行こうじゃないか

沿革

1981年	9月	26日	(仮称)東松山青年会議所 創立総会
1981年	12月	5日	東松山青年会議所 日本J C入会 (認証番号693)
1982年	4月	18日	日本J C入会認証伝達式
1985年	5月	10日	社団法人設立総会
1985年	10月	20日	5周年記念式典
1990年	6月	3日	第20回埼玉ブロック会員大会主管
1990年	9月	2日	10周年記念式典
"			大韓民国安城青年会議所と姉妹J C仮調印
1990年	10月	24日	安城青年会議所姉妹J C締結 (本調印)
1995年	1月	1日	社団法人 比企青年会議所へ名称変更
1995年	9月	17日	15周年記念式典
1996年	10月	3日	日本J C褒賞 国際協力推進賞 受賞
2000年	9月	30日	20周年記念式典
2005年	10月	8日	25周年記念式典
2010年	5月	23日	第40回埼玉ブロック会員大会主管
2010年	10月	23日	30周年記念式典
2014年	12月	24日	公益社団法人格へ移行
2015年	9月	19日	35周年記念式典
2020年	10月	18日	40周年記念式典中止 代替例会開催

歴代理事長

社団法人 東松山青年会議所

初代	1981年度	盛島満	23代	2003年度	飯島徹
2代	1982年度	盛島満	24代	2004年度	藤倉憲
3代	1983年度	竹間明	25代	2005年度	森田角三郎
4代	1984年度	(故)新井 義則	26代	2006年度	齋藤隆行
5代	1985年度	石川邦夫	27代	2007年度	戸口勝
6代	1986年度	長島甫	28代	2008年度	野澤憲幸
7代	1987年度	横塚正秋	29代	2009年度	新田悟詞
8代	1988年度	金子伸行	30代	2010年度	関和光広
9代	1989年度	中嶋茂	31代	2011年度	布施田靖寛
10代	1990年度	坂本 祐之輔	32代	2012年度	小久保雅弘
11代	1991年度	森田光一	33代	2013年度	安藤克也
12代	1992年度	柳沢佳久			
13代	1993年度	堀越博文			
14代	1994年度	坂本俊夫			

社団法人

比企青年会議所に法人格移行

15代	1995年度	森 繁	34代	2014年度	安藤克也
16代	1996年度	米山 真澄	35代	2015年度	谷田具和幸
17代	1997年度	利根川章	36代	2016年度	紫藤俊介
18代	1998年度	(故)中村英元	37代	2017年度	松本敏行
19代	1999年度	入澤重哉	38代	2018年度	矢島央喜
20代	2000年度	吉原邦陽	39代	2019年度	新田見隆
21代	2001年度	高木俊之	40代	2020年度	中島 慎一郎
22代	2002年度	田端健二	41代	2021年度	野澤 勉
			42代	2022年度	中嶋亮順
			43代	2023年度	野澤 勉
			44代	2024年度	中嶋 啓一朗

**公益社団法人 比企青年会議所 2025年度
第一回通常總會 次第**

日時：2025年 1月 18日（土）

10：30～12：00

会場：鳩山町ふれあいセンター

担当：ザ・総務広報拡大委員会

司会：山上 出雲 君

1. 点 鐘	第45代 理事長	関口 喜希	君
2. 開会宣言	副理事長	小沼 弘太	君
3. 国歌並びにJCソング斉唱			
4. JCIクリード唱和	ザ・総務広報拡大委員会 委員長	稲村 肇治	君
5. JCIミッション 並びにJCIビジョン唱和	ザ・総務広報拡大委員会 委員	宮下 龍平	君
6. JC宣言文朗読並びに綱領唱和	ザ・総務広報拡大委員会 委員	鹿沼 尚也	君
7. 関東地区宣言	比企こども未来委員会 委員	山口 航平	君
7. 比企まちづくり宣言	比企こども未来委員会 副委員長	細田 昇吾	君
8. 理事長挨拶	第45代 理事長	関口 喜希	君
9. 3分間スピーチ	ザ・総務広報拡大委員会 副委員長	岡谷 さゆり	君
10. 専務理事報告	専務理事	宮下 引弘密	君
11. 議 事			
1) 議長選出			
2) 定足数の確認			
3) 議事録作成人指名			
4) 議事録署名人指名			
5) 議事事項			
第1号議案 公益社団法人比企青年会議所 2024年度 事業報告（案）承認に関する件			
第2号議案 公益社団法人比企青年会議所 2024年度 収支決算（案）承認に関する件			
第3号議案 公益社団法人比企青年会議所 2025年度 修正収支予算（案）承認に関する件			
12. 各種報告	ザ・総務広報拡大委員会		
13. 次回例会PR	式典部会		
14. 出席率発表	ザ・総務広報拡大委員会		
15. 監事講評	監事	中島 慎一郎	君
16. 若い我等斉唱			
17. 閉会宣言	室長	中嶋 亮順	君
18. 点 鐘	第45代 理事長	関口 喜希	君

2025年度 役員名簿

理事長	関口 喜希
直前理事長	
監事	中嶋 啓一朗
監事	中島 慎一郎
専務理事	宮下 引弘密
副理事長	
室長	中嶋 亮順
副理事長	小沼 弘太
財務担当理事	
委員長	齋藤 翼
運営担当理事	
委員長	喜多 雄介
委員長	岩亀 竜太
委員長	稲村 壤治

2025年度
事業計画書

公益社団法人 比企青年会議所

【公益社団法人 日本青年会議所 2025年度スローガン】

Raise Your Flag

理想への挑戦

【関東地区協議会 2025年度基本理念】

今こそ新時代の旗手となれ

～地域間連携が生み出す共助社会～

【埼玉ブロック協議会 2025年度スローガン】

共に輝く未来へ～響き合い歓びあふれる埼玉の創造

【公益社団法人 比企青年会議所 2025年度スローガン】

物語り

～みんなが主人公になれるまち～

理事長所信

物語り

～みんなが主人公になれるまち～

第45代理事長 関口 喜希

【はじめに】

私達は、これまで「明るい豊かな社会の実現」を目指し44年間運動を展開してまいりました。今までの先輩諸兄弟の運動を通じて比企地域の人々が、地域を知り、体験することで地域愛の向上を図り、9市町村の垣根を越えた繋がりをつくり上げてきたことで、比企青年会議所は、本年、創立45周年の節目を迎えることができました。

そんな節目であるからこそ、私は、比企地域の一人ひとりが持っている唯一の思い出を「物語り」とし、所信として大切であると考えます。文化・伝統、地域の団体、地域に住む人々、比企地域に関係する、すべてのものには過去から現在につながる物語りがあり、これからは現在から未来へつながる物語りがあります。そのような数え切れない多くの物語りが重なり合うことで比企地域の「まち」が作り上げられてきました。豊かな自然と多様な価値観が共存するこの地域性に向き合い、この地域に住むすべての人々が「このまちの主人公」として、「物語り」をつくり活躍できる場を創ることで「明るい豊かな社会の実現」につながることを確信して運動に邁進してまいります。

【未来を想う組織運営】

比企青年会議所は、44年の歴史と伝統のなかで、多くの挑戦をし、成長を遂げてきました。

青年会議所運動の意思決定の権限は、メンバー一人ひとりにあり、最高決定機関として総会があります。しかし近年ではメンバーの減少や経験の少ないメンバーが増えたことにより、形式的な総会運営になってしまっている現状があります。

45周年を迎えたこれからの比企青年会議所がより発展するためには、総会に多くのメンバーが参加し、主体的に意見を交わすことが必要だと考えます。そのためには、メンバーを拡大し主体的な人材となれる「主人公」を育成していく必要があります。私達の組織運営において参加メンバーを増やすためにメンバーの拡大を続けると共に、新しく入会したメンバーを含めて、一人ひとりが意見をしやすい環境をつくり、個性にあったサポート体制を確立していきます。

そして主体的に成長した多くの「主人公」が、日々の運動や会議で意識の共有を図ることで、より良い組織運営が実現できると確信しております。

【未来の運動につなぐ想い】

青年会議所の運動展開においては、最適な環境づくりが重要です。時代の変化にともなう地域課題へより一層取り組むためには、比企青年会議所は公益社団法人から一般社団法人への移行を進め、運動に取り組みやすい環境をつくる必要があります。この変革により、さらなる組織の成長と持続可能な運営を実現し、全メンバーがJAYCEEとして成長し、活躍できる環境を整えます。

また、青年会議所という団体は、全世界で運動を展開しています。比企青年会議所だけでなく、青年会議所運動を理解してもらうためにも、多くの事業への参加を促し、メンバー同士の交流を通じて、一人ひとりの成長を図ります。また事業へ参加し、交流を通じて会員同士の親睦と友情を深め、組織全体の結束力を高めます。成長した会員が一人となり「主人公」として地域課題に取り組む体制を整え、今後更なる運動の展開へと繋げてまいります。

【比企と向き合う人材へ】

この比企地域は、豊かな自然と利便性の高い交通インフラにより、さまざまな産業が成長し地域経済が発展してきました。

しかし、時代の変化と共に、地域経済の発展には必要な知識や視点は、変化してきています。私達は、これからも地域の主人公となり続けるために、時代に合わせた経済や経営の視点を養い、地域経済が発展する基盤を築き続けます。私達が比企地域の主人公としてリーダーシップと経営力を向上させることで、多様な角度から地域を見つめ直し、多くの仲間と共に比企地域の発展に邁進してまいります。

【市町村が一つとなる青少年事業】

比企地域の未来を担うこども達を対象とする青少年事業は、比企青年会議所の軸をなす大切な運動の一つです。こども達のリーダーシップや協調性を育むための体験と学びを得られる機会を提供し、比企地域への愛を育みます。地域愛を持ったこども達は、比企地域の未来の主人公へ成長し、新たな物語りをつないでいくと信じています。「みんなが主人公」となるよう、心を込めて取り組んでいきます。

【感謝と決意の45周年】

比企青年会議所が44年間にわたって続けてきた運動は、先輩諸兄姉のたゆまぬ努力と熱意、そして、比企地域に住まう方たちのご理解、ご協力に支えられてきました。全ての皆様に深い敬意を表し、心から感謝いたします。私たちは、この歴史を受け継ぎ、次世代へと繋げていく責任があると考えます。

45周年を迎える本年は、比企地域の人々、行政、団体が一体となって、特別な思い出を創り上げる事業を実施いたします。事業を通じて、参加者一人ひとりが自らの手で思い出を作り、まち全体が一体感を持ち未来へ続く物語りをつくることを目指します。

また、35周年の際に策定した5カ年計画を振り返り、10年間の成果と課題を丁寧に検証することで、50周年に向けた新たな5カ年計画を策定します。この計画は、比企青年会議所と地域社会が共に発展する道筋を示し、次の50周年に向けた確固たる基盤を築くものです。

私たちは、全メンバーが地域の主人公となることを目指し、団結力を高めながら地域に貢献していきます。この45周年を新たな出発点として、地域社会と共に成長し続ける組織であり続けることを誓い、未来へと物語りを続けてまいります。

【終わりに】

私たち比企青年会議所は、44年間の歴史を背負い、これからの未来を見据えた運動を展開していきます。「物語り～みんなが主人公になれるまち～」をテーマに、地域の特性を活かし、地域の人々との連携を深めながら、明るく豊かな社会を実現するために邁進してまいります。

比企青年会議所が新たな「物語り」に進んでいく為にも、地域課題に取り組み、こども達が未来のリーダーとして成長できる環境を作るには、私たち自身も成長し続けることが求められます。

感謝と決意を胸に、地域の人々と共に特別な思い出を作り出し、次の50周年に向けて確固たる基盤を築いていく所存です。

今後も継続していく私達比企青年会議所の全メンバーが一丸となり、共に成長し、このまちの主人公として比企の「物語り」を紡いで参ります。

専務理事方針

専務理事 宮下 引弘密

～過去から今、未来へと繋がれていく組織運営を～

【歴史と伝統の受継ぎ】

私たち比企青年会議所の前身である東松山青年会議所は川越青年会議所をスポンサーLOMとし、1981年に設立されました。44年の時を経て、今年度節目である45周年を迎えます。比企青年会議所がここまで継続されてきたのは、先輩方が一つ一つの事業へ真剣に取り組み、地域の各諸団体と連携し、まちづくり・人づくりをしてきたからです。

現在、全国の青年会議所は、入会歴が浅いメンバーが増加しています。この状況は比企青年会議所にも当てはまり、在籍年数が3年未満というメンバーが増え、周年経験者が減少傾向にあります。

しかし、これはチャンスにもなり得ます。確かに在籍メンバーには周年経験者が少ないものの、私たちに44年間の歴史を積重ねてきて下さった、信頼できる先輩が多くいます。青年会議所運動を展開させている全国に、仲間がいます。OB会や周年を経験した歴代の先輩方、他LOMと連携をとり、比企青年会議所の歴史と伝統の受継ぎをしっかりと行っていきます。

【未来へつなぐ拡大】

私たち青年会議所が運動を展開していくには、多くの同じ方向を目指すメンバーが必要です。数は力とは言いますが、青年会議所の運動はまさにそれを体現しているのではないのでしょうか。メンバーが増えれば、出来ることの選択肢が増えます。しかし、青年会議所が40歳卒業という区切りがあるため、メンバーは増えない限り減っていきます。この現実を、メンバーがどれだけ自分事として問題意識を持てるかが重要となります。未来の比企地域を創る仲間を探すため、メンバー一丸となり働きかけていきます。

【未来を想う組織運営】

青年会議所の運動は、正会員の総意で決定されます。なぜ正会員の総意が必要なのでしょう。それはよりよい運動を展開するために、向かうべき方向性をメンバー全員が共有する必要があるからです。JC運動が指し示すのは「地域や人の意識や行動を変革すること」です。その目指すべきところとして、理事長所信があります。今年度のテーマである、「物語り ～みんなが主人公になれるまち～」では、個性を尊重し、一人ひとりが主人公になり、活躍できる組織運営を行っていく必要があります。メンバーのバックグラウンドは様々であり、考え方や価値観も一人ひとりが違います。みんなが主人公となるように、自分の考えを持ち、総会へ臨むことが出来る環境づくりができるよう、動いていきます。

【最後に】

比企地域の未来を照らし、明るい豊かな比企地域をつくる、その想いを受継ぎ45年目を迎えられること、心から感謝いたします。専務理事として、誰もが主人公になり、比企青年会議所の運動展開の物語りを紡いでいけるよう、支えてまいります。

副理事長方針

副理事長 小沼 弘太

～みんなで続けよう 僕たちの物語りを～

比企青年会議所は、1981年に設立され先輩諸兄姉の熱い思いが受け継がれ、本年度、45周年という節目を迎えます。45年間という長い年月の中で、国内における社会情勢は大きく変わってきました。我々が運動を展開する比企地域においても、若年層の減少と高齢化が進み、産業構造も、中心を担っていた農業や製造業に加えて、商業施設や物流業の割合が増加傾向にあります。

地域情勢が変化する中で、比企青年会議所は、先輩諸兄姉の築いた伝統ある歴史、想いを心に刻み、これからの比企地域について考えていく必要があると考えます。そして、この地域における物語りや思い出を創ることこそが、地域に根ざした活動の原動力となり、未来を担う人々の絆を強める要素となります。住民一人ひとりが心に残る物語りを持つことが、地域全体の豊かさや結束を深め、未来への歩みを力強く支えています。

【創立45周年 地域愛が物語りへ】

〇いままでを振り返りこれからを考える。

今後の比企青年会議所の方向性を定めるため、5か年計画を策定いたします。この計画では、これまでの事業を振り返り、先輩諸兄姉の歩みを受け継ぎつつ、未来に向けた方針を策定します。また、地域の現状や変化するニーズを的確に把握し、それに基づいた活動を展開していくことを目指します。この5か年計画は、地域に根ざした新たな取り組みを進め、持続可能な成長を実現するための重要な指針となります。

〇記念式典

これまでの歴史を振り返り、未来へと新たな「物語り」を紡ぐ絶好の機会が訪れました。私たち比企青年会議所が45年の節目を迎える記念式典では、長年支えていただいた皆様への感謝を表すとともに、今後の5年間を地域と共に成長し、挑戦を続けることで「物語り」を共に描いていきます。未来に向けた革新は、単なる変化ではなく、私たちが積み重ねてきた歩みの延長にあるものです。この革新が新たなページを加え、比企地域の人々にとっても誇りと記憶に残る「物語り」の一部となるよう尽力してまいります。

〇記念事業

45周年記念事業を開催し、この事業を通じて比企青年会議所の存在を地域に強くアピールしてまいります。本事業は、単なる節目の行事ではなく、今後の5か年計画の重要な一石を投じます。地域に根ざした活動を再確認し、未来を見据えた取り組みを開始する機会として位置づけていま

す。また、この事業を通じて、住民一人ひとりが心に刻む思い出が新たな「物語り」となり、そして地域全体に広がることで、豊かな未来を共に創り上げていくことを目指します。地域社会との連携をさらに深め、記念すべき節目にふさわしい意義ある事業として、地域住民の皆様と共に新たな一歩を踏み出します。

【地域愛のある青少年育成】

現在、比企地域では子どもの人口減少が進んでおり、子どもたちの間での交流も減少傾向にあります。また、比企地域で子ども達が交流する場を提供できる諸団体が少なくなり、子どもたちが学校以外で交流する機会が減少傾向にあります。この状況は、子どもたちが成長した際に地域愛が希薄になり、年齢が進むに連れて、比企地域を離れていく懸念があります。

その様な事態を少しでも防ぐために、我々は、スポーツを通じて子どもたちに思い出を作ってもらい運動を行うことで、地域への愛着を育んでもらうことを目指します。スポーツは、仲間との協力や努力の成果を感じることで、自信と誇りを培う場です。そして、その経験は子どもたちの心に深い思い出として刻まれ、地域に対する愛情や誇りを育てる原動力となります。子どもたちが将来にわたり比企地域を愛し、地域社会の発展に寄与する人材として成長してくれることを願い、子どもたちがスポーツを通して仲間と共に汗を流し、喜びや悔しさを分かち合う機会を提供していきます。

運動推進室 室長方針

～物語の第一項に足りうる運動の起点を目指して～

室長 中嶋亮順

私たち比企青年会議所は、比企地域という広域を対象として活動をする、唯一の公益社団法人です。この公益社団法人という法人格は、創立から35年の時を積み重ね選択したものです。私たちはそれ以来10年に渡り、「不特定多数の者の利益となる」公益事業を中心に運動を展開してきました。この10年という契機に、あらためて「私たちの目指す運動とはなにか」ということを見直す必要があるでしょう。

青年会議所が目指す明るい豊かな社会の実現は、地域社会の発展によってこそ果たされ、その発展を担うために私たち比企青年会議所が公益事業を進めてきました。しかし、私たちが目指す運動と公益事業は、同じ目的だったのでしょか。公益社団法人ではその法人の性格上、私たちメンバーではなく不特定多数の地域住民を対象とした公益事業を中心としなければなりません。この10年において、不特定多数の人々を対象とした事業を行うことに集中するあまり、運動の起点となる私たち自身の成長から目を背けていなかったでしょうか。

本年、比企青年会議所は「物語り ～みんなが主人公になれるまち～」というスローガンのもと運動を展開していきます。これは一人ひとりに焦点をあて、個人の成長が地域社会の発展に直結することを理念として示したものです。そのため本年は、私たちの目指す運動をあらためて定義しなおし、私たちメンバーの能力開発を中心とした運動を推進するために、ここに運動推進室を設置します。室とは本来、複数の委員会を束ねる際に設置されるものですが、ここでは事業の実施による運動推進だけでなく、運営改革による運動推進を担う機関と定め、事業・運営の両輪から今後の運動を推進していきます。

まちをつくるのは人です。そして私たちは、まちを思う人をつくるために、比企地域の人々の意識を変えるための運動をしています。その運動のためには、まず私たち自身が変わらなければなりません。この運動推進室は、私たちメンバー自身が成長することを中心に置き、事業面、運営面から見直しをはかっていきます。これにより50周年へと向けた運動の方向性を定め、さらなる運動推進の起点となることを目指してまいります。

〔委員会名〕

ザ・総務広報拡大委員会

〔構 成 員 〕

委員長	稲村 瑛治	委員	宮下 龍平
副委員長	岡谷 さゆり	委員	鹿沼 尚也
委員	山上 出雲		

〔事業方針〕

【ザ・総会】

私達比企青年会議所は、44年間という長い歴史の中で、総会を最高意思決定機関として厳粛に執り行ってまいりました。しかし現在、その総会という場における議案の議決や唱和など、極めて形式的になってしまっているのではないのでしょうか。より質の高い総会を行うためには、メンバー一人ひとりが、なぜ総会を行うのか、なぜ唱和を行うのか、唱和にはどんな意味が込められているのかなど、一つ一つの意義を改めて考え、意識を高めることが必要であると考えます。そのために、まずは委員会が率先して理解に努め、メンバーへの周知に努めてまいる所存です。

物語りの最初の1ページである第一回通常総会で一步を踏み出し、最後の1ページである第三回通常総会で締めくくりをし、未来へつなげられるよう努めてまいります。

【ザ・広報】

私達比企青年会議所は、これまでホームページやケーブルテレビ、SNS等の媒体において、広報活動を行ってまいりました。しかしこれらの広報は、なぜ行っているのか、どこに向けて行っているのか、理解した上で、的確な発信が出来ているのでしょうか。より質の高い広報を行うためには、現在発信のツールとして使用しているホームページやSNSアカウントを、今一度しっかりと見つめ直し、それぞれの役割を理解した上で発信する必要があると考えます。一例を挙げると、「SNSは拡大のためのツールとして、比企JICに興味を持ってもらうために、メンバーおよび団体の魅力を発信する」といったように、「なぜ、誰に、何を、どのように発信するか」をシンプルに考え、研究を続けながら、主にデジタルを駆使し、より効果的な広報活動に努めてまいります。

【ザ・拡大】

私達比企青年会議所は、これまで会員開発を主とする委員会を毎年設置し、拡大運動を行ってまいりました。しかし、会員拡大は委員会だけで行う取り組みではなくなってきていると感じています。より質の高い拡大を行うためには、まずはザ・総務広報拡大委員会が率先してメンバーへの意識共有を図るとともに、全員が拡大の意識を持ち、なぜ拡大が必要なのかを考え、それぞれの役割、目標、責任を持ち、メンバー一人ひとりが拡大の主人公となる必要があります。デジタルを駆使した広報で魅せつつ、直接会ってコミュニケーションをとるアナログを駆使し、より効果的な拡大運動を行ってまいります。

また、入会がゴールと捉えることなく、入会後のフォローアップをしっかりと行っていくことが大切です。新メンバーの入会の目的や目標を把握し、メンバーへの共有を図り、「JICに入会してよかった」と思ってもらえるよう努めてまいります。

【結びに】

本物の意を込めた「ザ」の一字に恥じぬよう、2025年度のザ・総務広報拡大委員会は、総会、広報、拡大、ひとつひとつの意義を見つめ直し、シンプルかつ丁寧に行ってまいります。そして、比企青年会議所の物語りに、新たなページを刻めるよう、委員会一同力を合わせ邁進してまいります。

【予算総額】

内部事業資金 ¥0 外部導入資金 ¥0 その他(会議費等含) ¥5,000 総額 ¥0

【事業計画および予算】

1	第1回例会 1月	内部事業資金	¥0
		外部導入資金	¥0
		小計	¥0
2	第2回例会 8月	内部事業資金	¥0
		外部導入資金	¥0
		小計	¥0
3	第3回例会 12月	内部事業資金	¥0
		外部導入資金	¥0
		小計	¥0
4	会議費		¥5,000
5	会員拡大		5名

【委員会名】

比企子ども未来委員会

【構 成 員】

委員長	喜多 雄介	委員	萩原 卓磨
副委員長	細田 昇吾	委員	山口 航平
委員	神場 寿		

【事業方針】

比企地域の子供たちにとって、この地域で過ごす日々は、将来への基盤を築く貴重な経験です。豊かな自然と伝統が息づく比企で育つ彼らには、地域ならではの価値や魅力に触れ、自らの可能性を広げていく環境があります。しかし、少子化や都市化の進行に伴い、地域との結びつきを感じる機会が減少しつつあり、将来的にこの土地を離れる子供が増えることが懸念されます。

「比企子ども未来委員会」は、比企の未来を担う子供たちが学校や家庭だけでなく、地域全体が支え合う環境で成長できる場を提供することが重要だと考えています。地域の自然や文化、人々とのふれあいを通じて、自分たちが住む場所への誇りを抱き、この地で築いた「物語り」が、将来もこの地域に住み続けたいという気持ちを育ててくれると信じています。

比企ならではの体験は、都会では味わえない特別なものです。たとえば芝生の上でのサッカーや地域行事への参加は、ただの遊びにとどまらず、子供たちが地域との絆を深め、まちに対する愛着と誇りを感じるきっかけとなります。こうした経験を通して、彼らは比企地域に対する愛着と誇りを持ち、将来にわたり地域の発展に貢献する存在へと成長することを期待しています。

「比企子ども未来委員会」は、このような体験の場を子供たちに提供し、地域愛と誇りを育む活動を通じて、次世代を担う力を育てていきます。地域に根ざし、共に成長を実感できる環境づくりを通して、彼らが自らの未来を切り拓いていけるよう、全力でサポートしてまいります。

【予算総額】

内部事業資金 ¥67,000 外部導入資金 ¥48,000 その他(会議費等含) ¥5,000 総額 ¥120,000

【事業計画および予算】

1	第1回例会 5月	内部事業資金	¥67,000
		外部導入資金	¥48,000
		小計	¥115,000
4	会議費		¥5,000
5	会員拡大		2名

【委員会名】

Grows委員会

【構 成 員】

委員長 齋藤 翼 委員 稲村 壕治
副委員長 喜多 雄介
委員 岩亀 竜太

【事業方針】

比企地域では、1960年代から1980年代の経済成長期に、交通インフラが整い、住宅開発が進み、自然の豊かさも相まって、急速に人口が増加しました。しかし近年では、若年層の減少と高齢化が進み、多くの地域で人口が緩やかに減少しています。

私達、比企青年会議所メンバーの中にも、社会人になるタイミングで比企地域外の企業に就職し、長年地元から離れていたメンバーがいます。そんな私達のメンバーもそれぞれの理由があって、地元に戻ってきましたが、私達の地元の友人は今も比企地域から離れている人が多くいます。この状況は我々世代のみならず、若年層のこれからの未来にも起こり、我々よりも先輩の世代にも起こっていることでしょう。

ではなぜ人は地元から離れてしまうのか、そしてなぜ地元に戻ってこないのか。その課題には様々な理由がありますが、その理由の一つは魅力的な企業が比企地域に少ないことではないでしょうか。魅力的な企業とは、企業ブランドが確立されていたり、報酬が高かったり、魅力的な社員・社長が在籍していたり、成長している企業だと考えます。そしてそんな魅力的な企業が地域に増えれば、若年層の流出を防ぎ、更には他の地域から人を流入させていくことに繋がると考えます。魅力的な企業をこの比企地域に増やしていくためには、企業の発展が必要不可欠です。そして企業の発展には、人の成長が一番重要です。

私達比企青年会議所のメンバーが新たな知識を身に付け、能力を培い、それらを元に周囲に影響を与えていくことは、比企地域の発展の足掛かりとなることでしょう。そんな能力開発の一翼を担うのが、私達委員会の使命だと考えます。

【予算総額】

内部事業資金¥70,000 外部導入資金¥0 その他(会議費等含)¥5,000 総額¥75,000

【事業計画および予算】

1	第749回例会 4月	内部事業資金	¥70,000
		外部導入資金	¥0
		小計	¥70,000
2	会議費		¥5,000
3	会員拡大		0名

【委員会名】

未来創造委員会

【構 成 員】

委員長 岩亀 電太
副委員長 瀬上 拓

【事業方針】

比企青年会議所が今後さらなる運動を展開していくために、運動に取り組みやすい最適な環境づくりが必要とされています。その環境づくりのために私たち未来創造委員会では「場所づくり」「仲間の絆」「法人格移行」という3つの柱を立て、その一つひとつを創造することで未来の運動へと想いを繋げていきます。

【場所づくり】

場所づくりとは、日ごろの活動を気持ちよく行える環境や、メンバーのやりたいことをできるようにする環境をつくることだと考えます。物理的な環境として、現在老朽化が進んだJC会館の問題があります。私たち未来創造委員会では気持ちよく活動が行える環境を整えるために、新たなJC会館を多くのメンバーと一緒に探し、気持ちを一つにすることで未来に繋げていきます。

【仲間の絆】

メンバー間の交流は、現在多くあるのでしょうか。運動を行うためには、何より仲間の絆が必要です。そのため、埼玉ブロック協議会の事業への参加を通してメンバー間が交流するきっかけとし、日頃のメンバー交流を促すことによって、メンバー同士の絆を深めていき未来の運動を創造していきます。

【法人格移行】

公益社団法人から一般社団法人への法人格移行を行っていきます。法人格移行を行うことで、メンバーはやりたいことや、自分の思いを実現しやすい環境を作ることができるでしょう。それによってメンバーのモチベーションを高める未来に繋げていきます。

未来創造委員会では、一年間を通して上記の方針を掲げて活動していくことにより、メンバーの活動しやすい環境を整えます。環境が整うことでメンバーの成長を促し、メンバーが一丸となることで地域課題に取り組むことができるでしょう。メンバーがやりがいを持ち、自ら主体的に運動する「主人公」となる未来を創造できるよう邁進していきます。

【予算総額】

内部事業資金 ¥0 外部導入資金 ¥0 その他(会議費等) ¥5,000 総額 ¥5,000

【事業計画および予算】

1	第1回例会 3月	内部事業資金	¥0
		外部導入資金	¥0
		小計	¥0

2	第2回例会 6月	内部事業資金	¥0
		外部導入資金	¥0
		小計	¥0
3	第3回例会 10月	内部事業資金	¥0
		外部導入資金	¥0
		小計	¥0
4	会議費		¥5,000
5	会員拡大		1名

〔委員会名〕 記念式典部会

〔構 成 員〕

式典部会長	稲村 壕治	委員	池田 大樹
委員	岩亀 竜太	委員	山上 出雲
委員	小見 深祐	委員	岡谷 さゆり
委員	瀬上 拓		

〔事業方針〕

私達、比企青年会議所は、本年度45周年という節目を迎えます。先輩方のたゆまぬ努力と熱意が歴史を紡いでくださったからこそ、この節目を迎えることが出来るのだと感じています。そして何より、比企地域の皆様のご理解、ご協力、お支えがあったからこそ今まで運動を続けてこれたのだと思います。

私達は今年度、45周年を記念し、「これまで」と「これから」を綴った記念誌を作成いたします。そして、先輩方、地域の皆様へ向けて45周年記念式典を開催し、「引き続き支えていきたい」と思っていただけよう、深い敬意を表すとともに精一杯の誠意を込めて、これまでの「感謝」と今後5年間の「決意」を表明させていただきます。

また、式典に向けてメンバー全員の団結力を高めるとともに、各地でキャラバン運動を展開し、より多くの皆様にご参加いただけるよう努めてまいります。

比企青年会議所という一冊の本に、私達の1ページをしっかりと刻みこみ、未来の比企青年会議所へと物語りを紡いでまいります。

〔予算総額〕

内部事業資金 ¥360,000 外部導入資金 ¥0 その他(会議費等含) ¥5,000
 総額 ¥365,000

〔事業計画および予算〕

1	第747回例会 2月	内部事業資金	¥0
		外部導入資金	¥0
		小計	¥0
2	第754回例会 9月	内部事業資金	¥360,000
		外部導入資金	¥0
		小計	¥360,000
4	会議費		¥5,000
5	会員拡大		0名

[委員会名]

記念事業部会

[構 成 員]

委員長 喜多 雄介 委員 萩原 卓磨
副委員長 細田 昇吾
委員 神場 寿

[事業方針]

比企青年会議所は、44年間にわたり地域への思いと伝統を受け継ぎ、比企地域が明るく活気づき、魅力あふれる地域となることを目指して活動に取り組んできました。45周年を迎えるにあたり、私たちはこれまでの思いをさらに深め、これからもこの比企地域で力強く活動を展開していきます。比企地域は、豊かな自然や文化、歴史に恵まれた地域です。私たちはその特性を最大限に活かし、次世代を担う青少年と地域住民が一体となり、地域への愛着と誇りを育む地域社会の実現を目指します。

45周年の節目にあたり、私たちは地域の魅力を再発見し、子どもたちが地域に愛着と誇りを持ちながら成長できる場を提供します。地域で紡がれる「物語り」とは、子どもたちが比企地域で触れる自然や文化、地域の人々とのふれあいを通じて得た経験、行事や活動で得た喜びや達成感が積み重なって生まれる思い出です。この「物語り」は、個人の心に刻まれるだけでなく、地域全体で共有される記憶として地域愛を深める原動力となります。

この活動を通じて、地域住民と共に新たな挑戦に取り組み、「みんなが主人公になれるまち」を築き、次世代に受け継がれる持続可能な地域社会を創り上げ、明るい豊かな社会の実現を目指します。

[予算総額]

内部事業資金¥1,873,000 外部導入資金¥30,000 その他(会議費等含む)¥5,000
総額¥1,908,000

[事業計画および予算]

1	第752回例会	7月	内部事業資金	¥1,700,000
			外部導入資金	¥30,000
			小計	¥1,730,000
2	第756回例会	11月	内部事業資金	¥173,000
			外部導入資金	¥0
			小計	¥173,000
4	会議費		¥5,000	
5	会員拡大		0名	

公益社団法人比企青年会議所

2025年度 出向者名簿

日本青年会議所関東地区埼玉ブロック協議会

ブロック大会運営委員会

委員 喜多 雄介

日本青年会議所関東地区埼玉ブロック協議会

ブロック大会運営委員会

委員 齋藤 翼

公益社団法人 社会福祉学術院
一般会計収支予算書（歳入）

2025年1月1日から2025年12月31日まで

科 目 名	2025年度歳入予算額	2024年度歳入予算額	増 減	備 考
1 一般歳入				
(1) 歳入収益				
① 財政安定基金等 特定資産利息	0	0	0	
② 受取利息	1,100,000	1,100,000	0	
基金金	2,124,000	2,124,000	0	基金利10%×100,000円、 借入金員7名×20,000円
入金金	140,000	140,000	0	基金元金×20,000円
貸付金	436,000	436,000	0	特別会計貸付金×10,000円、 特別会計貸付金×15,000円
③ 特別会計会費、賛助会員費	70,000	70,000	△ 0	
④ 事業収益	78,000	164,000	△ 86,000	
事業譲渡収益	78,000	164,000	△ 86,000	
委託料収益	0	0	0	
⑤ 受取補助金等	0	0	0	
国庫補助金	0	0	0	
地方公共団体補助金	0	0	0	
民間補助金	0	0	0	
国庫助成金	0	0	0	
地方公共団体助成金	0	0	0	
民間助成金	0	0	0	
⑥ 受取会費金	0	0	0	
⑦ 受取寄付金	400,000	400,000	0	
受取寄付金	420,000	420,000	0	公益財団法人200,000円、 J C スキークラブ20,000円、 道庁理事長寄付金100,000円
受取会費金	0	0	0	
⑧ 雑収益	10,000	10,000	0	
受取利息収益	15,000	15,000	0	
その他雑収益	0	0	0	
⑨ 他会社からの繰入金	1,100,000	0	1,100,000	
日本 J C 本部会社からの繰入金	0	0	0	
地区 J C 本部会社からの繰入金	0	0	0	
他会社からの繰入金	1,100,000	0	1,100,000	特別準備金1,100,000円
歳入合計	1,170,000	1,100,000	1,100,000	
(2) 経費費用				
① 事業費	1,400,000	1,470,000	970,100	
事業費	1,410,000	1,470,000	970,100	
事業費繰入金	0	0	0	
会費費	233,100	261,100	71,420	
雑費	1,121,800	1,208,900	706,200	
リース料	15,000	67,230	△ 72,230	
印刷費	0	20,000	△ 20,000	
広告宣伝費	73,700	50,000	23,700	
図書代金	132,200	65,422	47,100	
燃料費	0	0	0	
雑行費	0	2,000	△ 2,000	
保険料	0	13,200	△ 13,200	
委託料	0	3,100	△ 3,100	
会議費	23,000	31,102	△ 8,102	
旅費	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	
消耗品費	263,420	128,174	135,346	
支払手数料	3,000	0	2,000	
雑費	0	0	0	
雑費	61,604	36,700	24,814	
事業費	0	0	0	
② 管理費	1,130,000	1,130,000	500,000	
会議費	23,000	18,000	15,000	理事長会費2,000円、 会議費20,000円
給料手当	0	0	0	
雑給	0	0	0	
手当	0	0	0	
臨時雇員費	0	0	0	
退職給付手当	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	
旅費交通費	0	0	0	
福利費	0	0	0	
雑費	0	0	0	
雑費	0	0	0	

2025年度 委員会事業予算書(案)

(単位:円)

委員会名	例会・事業名	当初予算			合計
		本会計より	登録料収入	その他収入	
ザ・経済広報社大 委員会	第1回例会	0	0	0	0
	第2回例会	0	0	0	0
	第3回例会	0	0	0	0
	第4回例会	0	0	0	0
	会議費	5,000	0	0	5,000
	委員会合計	5,000	0	0	5,000
未来創造 委員会	第1回例会	0	0	0	0
	第2回例会	0	0	0	0
	第3回例会	0	0	0	0
	会議費	5,000	0	0	5,000
		委員会合計	5,000	0	0
比企こども未来 委員会	第1回例会	67,000	48,000	0	115,000
	会議費	5,000	0	0	5,000
		委員会合計	72,000	48,000	0
Green 委員会	第1回例会	70,000	0	0	70,000
	会議費	5,000	0	0	5,000
		委員会合計	75,000	0	0
事業部会	第1回例会	1,780,000	30,000	0	1,780,000
	第2回例会	173,000	0	0	173,000
	会議費	5,000	0	0	5,000
		委員会合計	1,958,000	30,000	0
記念式典部会	第1回例会	0	0	0	0
	第2回例会	360,000	0	0	360,000
	会議費	5,000	0	0	5,000
		委員会合計	365,000	0	0
	小計	2,490,000	78,000	0	2,478,000
一般管理費					
ザ・経済広報社大 委員会	理事定章登記	25,000	0	0	25,000
	JIC会館維持費	65,000	0	0	65,000
	巡回交歓会謝礼金	61,200	0	0	61,200
	紙5連官費	30,000	0	0	30,000
		委員会合計	181,200	0	0
	小計	181,200	0	0	181,200
總合計		2,596,200	48,000	0	2,659,200
全額控除計		30,000	各委員会の会議費、3回の総会		

2025年度 修繕積立金 収支予算書 (案)

(単位：円)

収入の部		2025年度	2024年度	増 減	摘 要
大 科 目	中 科 目	当初 予算	当初 予算		
繰入金収入	繰入金収入	0	0	0	
	計	0	0	0	
雑収入	受取利息	100	6	94	
	計	100	6	94	
当期収入合計	当期収入計	100	6	94	
前期繰越収支差額	前期繰越収支差額	695,227	695,221	6	
収入合計		695,327	695,227	100	

支出の部		2025年度	2024年度	増 減	摘 要
大 科 目	中 科 目	当初 予算	当初 予算		
積立金取崩金	J C 会館修繕費	0	0	0	
	計	0	0	0	
当期支出合計	当期支出合計	0	0	0	
当期収支差額	当期収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	次期繰越収支差額	695,327	695,227	100	
支出合計		695,327	695,227	100	

2025年度 特別準備金 収支予算書 (案)

(単位：円)

収入の部		2025年度	2024年度	増 減	摘 要
大 科 目	中 科 目	当初 予算	当初 予算		
繰入金収入	特別準備金繰入収入	0	0	0	
	計	0	0	0	
委員会事業 会計収入 (負担金収入)	委員会事業会計収入	0	0	0	
	委員会事業参加費収入	0	0	0	
	計	0	0	0	
広告料収入	広告料収入	0	0	0	
	計	0	0	0	
補助金収入	補助金収入	0	0	0	
	計	0	0	0	
寄付金収入	寄付金収入	0	0	0	
	計	0	0	0	
雑収入	受取利息	188	6	182	
	計	188	6	182	
当期収入計	当期収入計	188	6	182	
前期繰越収支差額	前期繰越収支差額	1,296,154	1,296,148	6	
収入合計		1,296,342	1,296,154	188	

支出の部		2025年度	2024年度	増 減	摘 要
大 科 目	中 科 目	当初 予算	当初 予算		
特別事業	記念式典	360,000	0	0	
	記念事業	780,000	0	0	
	式典記念誌等	150,000	0	0	
	計	1,290,000	0	0	
当期支出計	当期支出計	1,290,000	0	0	
次期繰越収支差額		6,342	1,296,154	△ 1,289,812	
支出合計		1,296,342	1,296,154	188	

■ 2025年度1月会員名簿

No.	認証番号	入会年度	区分	氏名	事業所名称又は職業
1	295	2015	正会員	中島 慎一郎	東松山市議会議員
2	300	2016	正会員	岩亀 竜太	(有)勝男武士屋本店
3	305	2016	正会員	中嶋 亮順	巖殿観音 正法寺
4	323	2019	正会員	小沼 弘太	(株)アジアエ研
5	324	2019	正会員	関口 喜希	(有)ピックフォーエヌエス
6	329	2021	正会員	瀬上 拓	公務員
7	334	2021	正会員	宮下 引弘密	行政書士くじらい事務所
8	337	2023	正会員	稲村 穰治	小川町議会議員
9	340	2023	正会員	神場 寿	(有)スガワラ電化 無人航空機事業
10	341	2023	正会員	細田 昇吾	スポット労務士くん社会保険 労務士法人
11	342	2023	正会員	喜多 雄介	(株)喜多
12	343	2024	正会員	齋藤 翼	(有)東松山交通
13	344	2024	正会員	山上 出雲	出雲プロダクション
14	345	2024	正会員	岡谷 さゆり	(有)東馬建設
15	346	2024	正会員	萩原 卓磨	タクマ電設
16	347	2024	正会員	宮下 龍平	RYUGU DINER
17	348	2024	正会員	鹿沼 尚也	国土緑工(株)
18	349	2024	正会員	山口 航平	(株)ヤマグチ工務店
			外部監事	中嶋 啓一郎	関中建設(株)

公益社団法人 比企青年会議所 2024年度 特別会員名簿

No	氏名	事業所名称	事業所所在地
1	高橋勳	高橋精機株式会社	東松山市新郷88-20
2	柳澤佳久	有限会社丸屋商店	東松山市松葉町1-18-13
3	坂本祐之輔	料亭坂本屋	東松山市材木町6-16
4	小島真三	株式会社進明堂	東松山市箭弓町1-4-14
5	米山真澄	株式会社ヨハネ印刷	東松山市美原町2-1-1
6	田辺修一	有限会社田辺材木店	比企郡吉見町久保田1449
7	高木俊之	国土緑工株式会社	東松山市下唐子1429-25
8	高橋利公	彩栄設計有限公司	東松山市若松町2-11-24-306
9	飯島徹	有限会社飯島商店	東松山市石橋1536
10	吉野和夫	ムサン登記サービス	比企郡嵐山町大字平澤689-2
11	宮村明彦	株式会社東上不動産	東松山市箭弓町2-2-16
12	斎藤隆行	有限会社東松山交通	東松山市本町2-2-36
13	森田角三郎	株式会社森田建設	東松山市葛袋229-1
14	小池啓夫	有限会社あずま家	東松山市材木町13-4
15	笠原俊也	武州測量株式会社	東松山市上唐子1494-21
16	大澤直樹	大澤労務管理事務所	比企郡ときがわ町日影866-1
17	野澤憲幸	株式会社野沢スポーツ	東松山市若松町1-13-18
18	松本晃広	有限会社マツモト外構	熊谷市青山13-75
19	坂口謙一	ミチヒラ造園	東松山市西本宿363-3
20	秋葉正幸	株式会社秋葉製作所	比企郡嵐山町花見台7-8
21	関口修	東松山運輸有限公司	東松山市大字下唐子1153-58
22	小杉豊治	株式会社小杉組	比企郡吉見町北下砂750
23	賛田輝	バルコン東松山店	東松山市六反町8-4
24	浅野聖子	医療法人盛島歯科医院	東松山市新郷355-4
25	関和光広	ウッディノナカ株式会社	比企郡ときがわ町西平1587
26	宮寺祐二	株式会社ミララ	比企郡小川町下横田867-2
27	秋山圭	明成建材工業株式会社	東松山市上野本961
28	飯田賢	保健事業株式会社	東松山市大谷1891-1
29	内川英樹	有限会社内川商会	東松山市柏崎428-1
30	中山健太郎	晴雲酒造株式会社	比企郡小川町大塚178-2
31	紫藤俊介	紫藤測量登記事務所	東松山市松山町1-4-31
32	横川雅也	株式会社花恒	東松山市箭弓町2-12-13
33	安藤和広	マイスター行政書士事務所	東松山市上唐子1418-3
34	馬場陽一	有限会社クリナス	比企郡小川町青山1323-8
35	吉原邦陽	大里不動産	東松山市松本町1-8-22
36	利根川章	良元堂	東松山市松葉町1-6-5
37	中嶋茂	関中建設	東松山市石橋1691-1
38	松本敏行	松本建設	比企郡ときがわ町玉川4779-1
39	新田見隆	ライフサポート	東松山市箭弓町3-1-1
40	佐藤健一	(有)朝日興産	東松山市元宿1-11-10

41	長島 甫	イースタンモーターサービス㈱	東松山市古凍564
42	福島 康司	(株) 浜屋	東松山市下唐子1594
43	紫藤 康弘	㈱Parkフォレスト	比企郡滑川町みなみ野2-5-7
44	大澤 孝子	㈱大幸	埼玉県東松山市上野本167
45	竹内 一彦	竹内梱包材料㈱	熊谷市橋井1985-1
46	坂本 俊夫	東松山市議会議員	東松山市本町2-3-9
47	大山 裕美	Rミュージック	東松山市松葉町3-13-20
48	矢島 央喜	(有) ヤジマ燃料	東松山市箭弓町1-14-13
49	新嶋 啓男	(有) 新嶋商店	比企郡吉見町南吉見344
※	寄付金	谷田貝和幸 株式会社谷田貝組	東松山市松山町1-14-28

公益社団法人 比企青年会議所 2024年度 賛助会員名簿

No	事業所名称	事業所所在地	T E L	代表者
1	埼玉りそな銀行 東松山支店	東松山市箭弓町3-4-3	0493-24-1211	支店長
2	人間基地青年同友会東松山市部	東松山市松山町1-4-31	0493-24-1423	紫藤俊介
4	彩栄設計有限会社	東松山市若松町2-11-24-306	0493-26-0432	高橋利公
5	株式会社小杉組	比企郡吉見町北下砂750	0493-54-1322	小杉豊治
6	明成建材工業株式会社	東松山市大字上野本961	0493-23-3168	秋山圭
7	高橋精機株式会社	東松山市新郷88-20	0493-24-2325	高橋宏之
8	有限会社東松山交通	東松山市本町2-2-36	0493-23-33333	齋藤隆行
9	大澤労務管理事務所	ときがわ町日影866-1	0493-65-1364	大澤直樹
10	Rミュージック	東松山市松葉町3-13-20	0493-23-3939	大山裕美
11	権力ナイ	比企郡吉見町中新井31-1	0493-54-1720	金井雄二
12	瀬大幸	東松山市上野本167	0493-24-2343	大澤孝子

－第1号議案－

公益社団法人 比企青年会議所
2024年度 事業報告（案）
承認に関する件

理事長報告

第44代理事長 中嶋 啓一朗

2024年度の一年間、公益社団法人比企青年会議所第44代理事長としての務めを無事に終えることができました。これもひとえに、メンバーの皆さま、地域の皆さま、そして多くの関係者の皆さまからの温かいご支援とご協力の賜物であり、心より深く感謝申し上げます。

2024年度は、43年間の歴史とつながりを活かしながら、新型コロナウイルスによる制約を乗り越え、「地域発展の先頭に立てる人材を輩出し続ける」という想いのもと、「承継～想いを受継ぎ未来へつなぐ～」をスローガンに掲げ、運動を展開しました。

【第3のつながりから得られる成長の機会】

青年会議所は、プライベート・仕事とも違う第3のつながりを築ける特別な場所です。さまざまな生活環境や職場環境から集まったメンバーが、共通の目的に向かって協力し、時間を共有します。20歳から40歳という限られた期間に、普段の生活や、仕事とは異なる作業を、自分自身で考えること、人に聞くこと、人に教えることの大切さを再認識し成長できる団体です。

その様な団体が継続していける様に、4月第一例会では、メンバー拡大実績のある卒業生を講師として迎え、拡大活動への意識と知識を高めました。その結果、6月第一例会の異業種交流会では、地域の方々と触れ合いながら、新たに正会員を迎え、年間ピーク時には正会員数が25名に達しました。これは、メンバー全員が丸となり取り組んだ成果であり、組織全体での拡大活動の重要性を再認識する機会となりました。

【つながりからの学び】

2025年度に45周年を控える比企青年会議所は、長い歴史と伝統を持つ団体です。しかし、2020年以降、新型コロナウイルスの影響で人々との交流が制約され、メンバーの成長機会も減少していました。その中で、歴史と伝統を未来へ受け継ぐための取り組みを進めました。

2月第一例会では、歴代理事長を講師としてお招きし、地域発展事業の構築や35周年式典の事例を学びました。そして10月例会では、模擬式典を実施し、学んだ知識を実践へと活かしました。これにより、メンバーは組織運営の基盤となるスキルを高め、団体全体の力を強化することができました。

【地域団体とつながるまちづくり】

広域にまたがる比企青年会議所は、地域団体と連携しながら活動を行っています。この広い比企においても、2020年以降多くの地域団体が事業に制約を受けていました。この1・2年は、どのような事業でも何年ぶりの開催、という状況が広がっていました。一度途切れたことを再開することは容易ではありません。比企青年会議所でもコロナ禍以降、中断していた事業も数多くあります。その様な中でも、3月第一例会では、小川町にて4年ぶりに比企子どもまつりを、比企地域の商工会青年部と協力し開催することが出来ました。3年間のブランクを取り戻すために、過去のノウハウをもう一度調べ、人に聞き、つながりを再構築することで、大きな成果を上げることが出来ました。

【未来へつながる機会の提供】

比企青年会議所では、地域子どもたちにリーダーシップや協力の精神を育む機会を提供しています。中でも、地域サッカー協会と協力の上で、36年間続いてきたサッカー大会を開催しています。少子化によるチーム数の減少に伴い、各種大会が廃止となっている中で、7月第一例会では、37回目の大会を開催することが出来ました。

また、9月第一例会では、小川町にて地域野菜を使ったカレーを、自分たちで釜戸を作って料理してもらいました。子供たちへ普段とは異なる、成長する機会を得られる場となりました。

【つながってきた組織運営】

比企青年会議所が長い年月をかけて築き上げてきた魅力の一つが総会運営です。一つの独立した法人としての責任を果たすため、3回の総会を開催し、メンバーからいただいた会費の元に年間の運動方針を作りあげ、審議・承認を得ることができました。

総会の運営を通じて、メンバーは組織運営の本質を学び、意思決定のプロセスを体験することができました。会議の準備や運営を通じて培ったリーダーシップや協力の精神は、私たちが成長する大きな糧となり、将来、企業や地域社会で活躍する際に必ず役立つものと確信しています。

理事長としての一年間を通じて、メンバー一人ひとりの情熱と行動力に何度も助けられました。その姿勢が私自身の大きな支えとなり、また成長を促してくれました。これからも比企青年会議所が「比企はひとつ」の精神を胸に、地域の未来を切り拓く存在であり続けることを願っています。

最後に、皆さまの温かいご支援とご協力に改めて感謝申し上げますとともに、今後の比企青年会議所のさらなる発展を祈念して、結びのご挨拶とさせていただきます。

2024年度理事長職務報告

年	月	日	事 項	場 所	
2024	1	4	埼玉ブロック協議会 第1回会員会議所会議	川越	
		6	岩殿観音正法寺 新年祈禱	東松山市	
		9	東松山市 新年の集い	東松山市	
		10	(公社)川越青年会議所 第1回通常総会 新年賀詞交換	川越	
		11	第1回環事会	東松山市	
		12	比企こども祭り第3回実行委員会	東松山市	
		15	川島町長 表敬訪問	川島町長	
		15	澗川町長 表敬訪問	澗川町	
		15	嵐山町長 表敬訪問	嵐山町	
		15	ときがわ町長 表敬訪問	ときがわ町	
		15	東秩父村長 表敬訪問	東秩父村	
		16	古見町長 表敬訪問	古見町	
		17	東松山市 商工会女性部 新年会	東松山市	
		19	京都會議	京都	
		20	京都會議	京都	
		21	京都會議	京都	
		23	東松山市長 表敬訪問	東松山市	
		23	第1回スタッフ会議	東松山市	
		26	小川町長 表敬訪問	小川町	
		26	鳩山町長 表敬訪問	鳩山町	
		26	比企青年会議所OB会新年会	東松山市	
		28	第1回通常総会 新年賀詞交換	古見町	
		29	(公社)埼玉中央青年会議所 新年武典	さいたま市	
		30	駐車場契約立会	東松山市	
		2	7	JC会館 照明設備点検立会	東松山市
			8	第2回環事会	東松山市
			13	第1回オープン委員会	東松山市
			15	比企こども祭り第3回実行委員会	東松山市
			20	東松山市総合計画審議会	東松山市
			20	第3回スタッフ会議	東松山市
	22	2月第1例会	東松山市		
	28	埼玉ブロック協議会スタートアップセミナー	川越市		
	29	埼玉ブロック協議会 第2回会員会議所会議	戸田市		
3	5	第3回環事会	東松山市		
	12	第2回オープン委員会	東松山市		
	14	川越青年会議所 3月例会オブザーブ	川越市		
	17	3月第一例会	小川町		
	19	第4回スタッフ会議	東松山市		
	23	日本青年会議所 第176回通常総会	東京都		
	28	埼玉ブロック協議会 第3回会員会議所会議	深谷市		
4	2	第4回環事会	東松山市		
	4	比企こども祭り 元気アップ委員会監査対応	小川町		
	9	第3回オープン委員会	東松山市		
	16	第5回スタッフ会議	東松山市		
	19	4月第一例会	東松山市		
	25	埼玉ブロック協議会 第4回会員会議所	朝霞市		

	5	7	第5回理事会	東松山市
		9	商工会青年部総会・懇親会参加	東松山市
		14	第4回オープン委員会	東松山市
		16	埼玉ブロックジャがいもゴルフコンペ	古見町
		21	第6回スタッフ会議	東松山市
		22	日本青年会議所 関東地区協議会 役員会	川越市
		24	東松山市 政策推進会議	東松山市
		26	5月第一例会	東松山市
		28	国土緑工 拡大訪問	東松山市
		30	埼玉ブロック協議会 ビジネス拡大委員会事業参加	朝霞市
		31	埼玉ブロック協議会第5回会員会議所会議	川口
	6	1	埼玉ブロック協議会 LOM支援委員会事業参加	朝霞市
		4	第6回理事会	東松山市
		6	第5回オープン委員会	東松山市
		14	秋葉製作所 拡大訪問	嵐山駅
		15	埼玉ブロック大会 朝霞大会	朝霞市
		18	第7回スタッフ会議	東松山市
		21	6月第一例会	東松山市
		27	埼玉ブロック協議会第6回会員会議所会議	行田市
		29	J Cカップ埼玉予選大会参加	熊谷市
		30	東松山市 市政70周年式典	東松山市
	7	1	日本青年会議所 小西会頭公式訪問	川越市
		4	第7回理事会	東松山市
		6	7月第一例会	東松山市
		6	関東地区大会	栃木県
		16	第1回臨時理事会	東松山市
		20	7月第一例会	古見町
		21	7月第一例会	古見町
		23	第8回スタッフ会議	東松山市
		26	エリアレッドスポーツ交流会	秩父市
		30	東松山市地域公共交通会議	東松山市
		31	埼玉ブロック協議会第7回会員会議所会議	入間市
	8	6	第8回理事会	東松山市
		7	鳩山町 小川ともや町長 表敬訪問	鳩山町
		8	川越JC 定時総会及び懇親会	川越市
		18	8月第一例会 第二回通常総会及び懇親会	東松山市
		20	第9回スタッフ会議	東松山市
		21	東入間JC 定期総会	ふじみ野市
		30	比企青年会議所OB会 暑気払い	古見町
	9	3	第9回理事会	東松山市
		7	入間基地青年同友会記念式典	所沢市
		14	川口青年会議所記念式典	川口市
		17	第10回スタッフ会議	東松山市
		21	三郷青年会議所記念式典	三郷市
		26	埼玉ブロック協議会第8回会員会議所会議	吉川市
		28	9月第一例会	小川町

	10	1	第10回理事会	東松山市
		4	全国大会 福岡大会	福岡県
		5	全国大会 福岡大会 日本青年会議所 第177回総会	福岡県
		6	全国大会 福岡大会	福岡県
		10	アメーzingカレッジ 表敬訪問	東松山市
		18	比企青年会議所 OB会役員会	東松山市
		20	比企青年会議所OB会 ゴルフコンペ	古見町
		22	第11回スタッフ会議	東松山市
		24	10月第一例会	東松山市
		28	埼玉ブロック協議会第9回会員会議所会議	熊谷市
	11	2	11月第一例会	東松山市
		3	11月第一例会	東松山市
		4	11月第一例会	東松山市
		9	比企青年会議所 理事長杯ゴルフコンペ	群馬県
		12	第11回理事会	所沢市
		16	埼玉ブロック協議会第10回会員会議所会議 さよならブロック	所沢市
		18	東松山市地域公共交通会議	東松山市
		19	第3回通常総会 現地リハーサル	古見町
		24	日本青年会議所 関東地区会員会議所会議 ありがとう関東地区大会	東京都
		25	第12回スタッフ会議 第2回臨時理事会	東松山市
		27	埼玉ブロック協議会 アカデミー委員会第11回全体委員会オブザーブ	さいたま市
	12	1	埼玉ブロック協議会 エリアレッドスポーツ交流会	入間市
		8	12月第一例会 第三回通常総会	古見町
		21	第1回臨時スタッフ会議 第12回理事会	東松山市

公益社団法人社会青年会議所 2024年度理事会報告

理事会	開催日	会場	区分	議題
				議決 1.2024年度決算立支予算案(案)承認に関する件
第1回理事会	1月11日	JC会館		協議 1.2024年度2月第一例会(案)について 2.2024年度2月第一例会(案)について
第2回理事会	2月8日	JC会館		議決 1.2024年度2月第一例会立支予算案(案)承認に関する件 2.2024年度2月第一例会(案)承認に関する件 3.2024年度2月第一例会(案)承認に関する件
第3回理事会	3月5日	JC会館		議決 1.公益社団法人社会青年会議所2024年度 幹事総会入会(案)承認に関する件 2.公益社団法人社会青年会議所2024年度 3月第一例会(案)承認に関する件 3.公益社団法人社会青年会議所2024年度 3月第一例会事業報告及び収支決算案(案)承認に関する件
第4回理事会	4月2日	J・C会館		議決 1.公益社団法人社会青年会議所2024年度 山口県導入(案)承認に関する件 協議 1.公益社団法人社会青年会議所2024年度 6月第一例会について 2.公益社団法人社会青年会議所2024年度 7月第一例会について
第5回理事会	5月7日	J・C会館		議決 1.公益社団法人社会青年会議所2024年度 四国より導入(案)承認に関する件 2.公益社団法人社会青年会議所2024年度 6月第一例会承認(案)承認に関する件 3.公益社団法人社会青年会議所2024年度 6月第一例会承認(案)承認に関する件 4.公益社団法人社会青年会議所2024年度 7月第一例会承認(案)承認に関する件 5.公益社団法人社会青年会議所2024年度 7月第一例会承認(案)承認に関する件 6.公益社団法人社会青年会議所2024年度 7月第一例会承認(案)承認に関する件 協議 1.公益社団法人社会青年会議所2024年度 8月第一例会について
第6回理事会	6月4日	J・C会館		議決 1.公益社団法人社会青年会議所2024年度8月第一例会(案)承認に関する件 全会一致にて可決 2.公益社団法人社会青年会議所2024年度7月第一例会事業報告及び収支決算案(案)承認に関する件 全会一致にて可決 3.公益社団法人社会青年会議所2024年度7月第一例会承認(案)承認に関する件
第7回理事会	7月4日	J・C会館		議決 1.公益社団法人社会青年会議所2024年度 8月第一例会承認(案)承認に関する件 全会一致にて可決 2.公益社団法人社会青年会議所2024年度 8月第一例会承認(案)承認に関する件
第8回理事会	7月26日	JC会館		議決 1.理事兼・監事の退任および総務部長について 2.公益社団法人社会青年会議所2024年度 総務部長入会(案)承認に関する件
第9回理事会	8月6日	J・C会館		議決 1.公益社団法人社会青年会議所2024年度 3月第一例会立支予算案(案)承認に関する件 2.公益社団法人社会青年会議所2024年度 3月第一例会事業報告及び収支決算案(案)承認に関する件 3.公益社団法人社会青年会議所2024年度 4月第一例会承認(案)承認に関する件 4.公益社団法人社会青年会議所2024年度 4月第一例会承認(案)承認に関する件 5.公益社団法人社会青年会議所2024年度 4月第一例会事業報告及び収支決算案(案)承認に関する件 6.公益社団法人社会青年会議所2024年度 5月第一例会承認(案)承認に関する件 7.公益社団法人社会青年会議所2024年度 5月第一例会承認(案)承認に関する件 8.公益社団法人社会青年会議所2024年度 5月第一例会承認(案)承認に関する件 9.公益社団法人社会青年会議所2024年度 6月第一例会承認(案)承認に関する件 協議 1.公益社団法人社会青年会議所2024年度 11月第一例会(案)について
第10回理事会	8月3日	J・C会館		議決 1.公益社団法人社会青年会議所2024年度 6月第一例会立支予算案(案)承認に関する件 2.公益社団法人社会青年会議所2024年度 6月第一例会事業報告及び収支決算案(案)承認に関する件 3.公益社団法人社会青年会議所2024年度 11月第一例会承認(案)承認に関する件 4.公益社団法人社会青年会議所2024年度 11月第一例会承認(案)承認に関する件
第11回理事会	10月1日	J・C会館		議決 1.公益社団法人社会青年会議所2024年度 7月第一例会立支予算案(案)承認に関する件 2.公益社団法人社会青年会議所2024年度 7月第一例会承認(案)承認に関する件 3.公益社団法人社会青年会議所2024年度 12月第一例会承認(案)承認に関する件
第12回理事会	11月25日	J・C会館		議決 1.慶賀物購入承認に関する件 2.公益社団法人社会青年会議所2024年度福山立支予算案(案)承認に関する件 3.公益社団法人社会青年会議所2025年度年間幹事総会承認(案)承認に関する件 4.公益社団法人社会青年会議所2025年度立支予算案(案)承認に関する件
第13回理事会	12月21日	J・C会館		議決 1.山口県導入承認に関する件 2.公益社団法人社会青年会議所2024年度8月第一例会事業報告及び収支予算案(案)承認に関する件 3.公益社団法人社会青年会議所2024年度8月第一例会事業報告及び収支決算案(案)承認に関する件 4.公益社団法人社会青年会議所2024年度11月第一例会承認(案)承認に関する件 5.公益社団法人社会青年会議所2024年度11月第一例会承認(案)承認に関する件 6.公益社団法人社会青年会議所2024年度11月第一例会承認(案)承認に関する件 7.公益社団法人社会青年会議所2024年度11月第一例会承認(案)承認に関する件 8.公益社団法人社会青年会議所2024年度12月第一例会承認(案)承認に関する件

2024年度、副理事長として「承継～想いを受け継ぎ 未来へつなぐ～」をスローガンに掲げ、メンバーと共に地域に根差した運動に取り組んでまいりました。本年度の運動を振り返ると、比企青年会議所の伝統と歴史を尊重しつつ、次世代への新たな一歩を踏み出す重要な1年であったと感じています。特に、小沼委員長が率いる「45周年準備拡大委員会」では、歴代理事長をはじめとする諸先輩方をお招きし、比企青年会議所の歩みや先人たちの想い、地域社会との関わり方について深く学ぶ機会を設けました。これにより、地域の未来を担う私たちが、これまでの運動の意義を再認識し、そのルーツを見つめ直すことで、より確固たる基盤を築くことができました。

2025年に迎える45周年に向けた準備委員会では、比企青年会議所全体での大きな課題として取り組みました。会員拡大事業においては、地域住民や会員との連携を強化するための運動を展開し、中嶋理事長、小沼委員長を筆頭に新入会員7名の拡大に成功しました。周年事業に向けては、地域社会と共に取り組むべき課題を明確化し、次なるステップとなる目標を検討しました。特に地域全体での協力体制を強化することで、周年事業が単なる記念行事にとどまらず、比企地域全体の活性化につながる重要な一助となるよう尽力しました。この取り組みを通じて、私たちの運動が地域に根付き、さらなる発展に寄与するものとなる確信を得ることができました。

一方、稲村委員長が率いる「比企プライド委員会」では、青少年事業に重点を置き、未来の地域を担う子どもたちの育成に力を注ぎました。地域の枠を越えた子どもたちの交流の場を創出し、リーダーシップや協調性を育むための体験事業を実施しました。豊かな自然に囲まれた比企地域ならではの特性を生かし、自然とのふれあいを通じて、子どもたちが仲間とのつながりを感じるとともに、比企地域への愛着を深められる事業を提供しました。これらの運動を通じて、比企の子どもたちが地域の未来を築く主体となる基礎を作ることができたと確信しています。

2024年度の運動は、多くの挑戦と学びに満ちたものでした。その成功は、中嶋理事長をはじめ、献身的に支えてくださったメンバーの皆様のご尽力によるものです。全ての活動を通じて、比企青年会議所の存在価値と運動の意義をさらに広めることができたこと、そしてその成果が地域社会にもたらした波及効果に深い感謝の念を抱いております。

最後になりますが、2024年度の活動を振り返り、副理事長として、多くの学びと成長の機会を得られたことを光栄に思います。この経験を未来への糧とし、さらに地域に貢献できる運動を展開していく所存です。中嶋理事長をはじめ、関係各位に改めて感謝を申し上げ、副理事長報告といたします。ありがとうございました。

副理事長報告並びに出向者報告

日付	委員会先	内容	場所
2023年12月			
16日	日本	勉強会	WEB
22日	日本	第0回全体委員会	東京
28日	LOM	第1回スタッフ会議	J C 会館
2024年1月			
9日	日本	小委員会	WEB
10日	LOM	川越青年会議所新年会	川越
11日	LOM	ケーブルテレビ打ち合わせ	東松山市
23日	LOM	スタッフ会議	J C 会館
25日	LOM	比企プライド委員会	J C 会館
26日	LOM	OB会新年会	東松山市
28日	LOM	比企青年会議所新年会	吉見町
2月			
1日	LOM	比企プライド委員会	J C 会館
8日	LOM	第2回理事会	J C 会館
9日	日本	全体委員会	久喜市
13日	LOM	第1回オープン委員会	J C 会館
20日	充職	東松山市情報公開・個人情報保護審議会	東松山市
20日	LOM	第3回スタッフ会議	J C 会館
22日	LOM	2月第一例会	東松山市
24日	LOM	比企プライド委員会映像撮影	9市町村
28日	LOM	ブロック事業スタートアップ	川越市
29日	LOM	こどもまつり実行委員会	J C 会館
3月			
2日	LOM	比企プライド委員会映像撮影	9市町村
3日	LOM	比企プライド委員会映像撮影	9市町村
5日	LOM	第3回理事会	J C 会館
12日	LOM	第2回オープン委員会	J C 会館
17日	LOM	3月第一例会	小川町
19日	LOM	スタッフ会議会議	J C 会館
20日	日本	群馬ブロック打ち合わせ、視察	群馬県
22日	日本	全体委員会、総会リハーサル	新宿
23日	日本		新宿
24日	日本	山梨ブロック打ち合わせ	山梨県
27日	LOM	埼玉ブロック協議会アカデミー全体委員会	羽生市
4月			
9日	LOM	オープン委員会	J C 会館

13日	日本	全体委員会	平塚
14日	日本	全体委員会	平塚
16日	L O M	第5回スタッフ会議	J C 会館
19日	L O M	4月第一例会	東松山
24日	L O M	東松山市スリーデーマーチ総会	東松山
26日	日本	埼玉ブロック協議会ビジネス拡大委員会	越谷
5月			
7日	L O M	理事会	J C 会館
14日	日本	全体委員会	平塚
16日	L O M	第6回スタッフ会議	J C 会館
19日	L O M	5月第一例会	東松山
24日	L O M	東松山市スリーデーマーチ総会	東松山
26日	日本	埼玉ブロック協議会ビジネス拡大委員会	越谷
6月			
4日	L O M	理事会	J C 会館
6日	L O M	オープン委員会	J C 会館
15日	L O M	埼玉ブロック大会	朝霞
18日	L O M	第7回スタッフ会議	J C 会館
21日	L O M	6月第一例会	東松山
7月			
4日	L O M	理事会	J C 会館
6日	L O M	7月第一例会	J C 会館
6日	L O M	関東地区大会	栃木県
16日	L O M	第1回臨時理事会	J C 会館
20日	日本	サマーコンファレンス	横浜
21日	L O M	7月第一例会	吉見町
23日	L O M	第8回スタッフ会議	J C 会館
8月			
6日	L O M	第8回理事会	J C 会館
8日	L O M	川越JC 定時総会及び懇親会	川越
15日	L O M	総会リハーサル	J C 会館
18日	L O M	8月第一例会 第二回通常総会及び懇親会	東松山市
20日	L O M	第9回スタッフ会議	J C 会館
21日	L O M	東入間JC 定期総会	ふじみ野市
30日	L O M	比企青年会議所OB会 暑気払い	吉見町
9月			
3日	L O M	第9回理事会	J C 会館
14日	L O M	川口青年会議所記念式典	川口市
17日	L O M	第10回スタッフ会議	J C 会館

28日	L O M	9月第一例会	小川町
10月			
4日	L O M	第10回理事会	J C 会館
18日	L O M	比企青年会議所 OB会役員会	東松山市
20日	L O M	比企青年会議所 OB会ゴルフコンペ	吉見町
22日	L O M	第11回スタッフ会議	J C 会館
24日	L O M	10月第一例会	東松山
26日	日本	第4回インバウンド戦略会議	東京
11月			
2日	L O M	11月第一例会	東松山
3日	L O M	11月第一例会	東松山
4日	L O M	11月第一例会	東松山
9日	L O M	比企青年会議所理事長杯ゴルフコンペ	群馬県
12日	L O M	第11回理事会	J C 会館
16日	L O M	埼玉ブロック協議会さよならブロック	所沢
24日	L O M	ありがとう関東地区協議会	東京
25日	L O M	第12回スタッフ会議	J C 会館
25日	L O M	第2回臨時理事会	J C 会館
12月			
8日	L O M	12月第一例会 第三回通常総会	吉見町
20日	L O M	比企青年会議所OB会忘年会	吉見町
21日	L O M	第12回理事会	J C 会館
23日	L O M	大東文化大学スターゲート引継ぎ	川越

【委員会名】総務広報委員会

【構 成 員】委員長 宮下 引仏密 委員 岡谷 さゆり

副委員長 関根 美沙 委員 宮下 龍平

委員 池田 大樹 委員 鹿沼 尚也

委員 山上 出雲

【事業報告】 1月第一例会（734回）「第一回通常総会」

5月第一例会（738回）「唱和でみんなの心を一つにしよう」

8月第一例会（741回）「第二回通常総会」

12月第一例会（745回）「第三回通常総会」

2024年度、総務広報委員会の委員長にお声を頂いてから、一年間本当に様々な事を経験し、メンバー皆に助けられ、無事一年間委員長の職を終える事が出来ました。

第一回通常総会では、今まで開催したことの無かった場所の選定。まだこの頃は委員会メンバーも少なく、初めてということもあり、総会を開くことで精いっぱい、メンバーの協力があってこそ何とか開けたといった感覚でした。

第二回通常総会では、1月の会場選定で困ったことを踏まえ、かなり早い段階で場所の確保を行いました。委員会メンバーも増え、準備段階から色々と相談しながら行うことが出来ました。当日、やはり問題点やご指摘頂いたところも多くありましたが、とても学びになった懇親会でした。

第三回通常総会は、運営組織づくりの大切さを学んだ回となりました。卒業生が全員出席して頂けたことは本当にありがたい事だと思いました。反省点は多くありましたが、「挑戦」が一番させて頂いた回となりました。

交流会では、5月のバーベキューを開催させて頂き、メンバー間の絆を深める事が出来たのではと思います。

今まで私個人では、「組織」を動かす立場になった事が無く、仕事柄もほとんど個人ブレイのところがりました。人に頼る事、全体を組織的に動かすこと、時間配分を考える事、とても多くの機会の提供を頂いた年となりました。一年間、早かったですが、一つひとつを思い出すと、とても充実した一年となったと思います。そして、仲間の有難さをもとても感じた年でした。一年間、ご協力本当に有難うございました。

【委員会名】比企プライド委員会

【構 成 員】委員長 稲村 環治 委員 喜多 雄介

副委員長 森田 雄二

委員 小見 深祐

委員 細田 昇吾

【事業報告】 3月第一例会（736回）「比企最高！地域の魅力をダブル発信だんべ！」

7月第一例会（740回）「比企最高！第37回J C旗争奪比企選抜少年サッカー大会」

9月第一例会（742回）「比企最高！有機野菜とカシラ肉～嵐を呼ぶ比企カレー大作戦～」

11月第一例会（744回）「比企最高！」

2024年度、比企プライド委員会では、「比企地域の皆さんに、自身の地域へのプライドを高めてもらいたい」という思いのもと、比企最高！を合言葉に、一年間を通して青少年育成およびまちづくり事業を行いました。

3月例会

第9回比企こどもまつりにて、ブース出店をし、1日こどもYouTuber体験を開催し、多くの子どもたち楽しんでいただくことが出来ました。

委員会として初めての例会ということもあり、準備、設営、運営、全てにおいて反省点ばかりでしたが、次はもっといい例会にしようと、委員会の結束を固めることができました。

7月例会

第37回J C旗争奪比企選抜少年サッカー大会を開催し、何年も続けてきた歴史ある大会を無事に終えることができ、次年度にしっかりとつなげることができたと感じています。

9月例会

小川町の地にて、比企地域の小学生を対象にカレー作り、芋掘り体験を行いました。

3月、7月例会の反省を活かし、当日マニュアルを作成し、サブリーダーを配置することで、非常にスムーズな運営ができ、委員会としての確かな成長を感じた例会となりました。

11月例会

東松山スリーデーマーチにて、3日間ブース出店をし、参加者に映像発信をしていただくという、これまでになかった挑戦的な例会を開催いたしました。

当然、課題やイレギュラーは多くありましたが、メンバー全員で協力して運営することができ、一年間の集大成をしっかりと飾ることができました。

一年間、本当に大変な時間が多くありましたが、その反面、志を同じうする仲間たちと感動の瞬間をいくたびも共有できたことで、絆を深めることができました。思い返してみると苦労話は絶えませんが、多くの学びに恵まれ、「JCに入会してよかった」と思うことが何度もありました。スタート当初は、本当に頼りない委員長だったかもしれませんが、最後の例会の際に委員会メンバーから、「頼もしくなりましたね」と声をおかけいただけたことは誇りであります。委員長として指名して下さった中嶋理事長へ心から感謝いたします。そして、一年間我々比企プライド委員会をお支えいただいたすべての皆様に心の底からの感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。比企最高！

【委員会名】 45周年準備【拡大】委員会

【構 成 員】 委 員 長 小沼 弘太 副委員長 神場 寿
 委 員 吉野 貴香 委 員 岩亀 竜太
 委 員 齋藤 翼 委 員 萩原 卓磨

【事業報告】 2 月 例 会(735)「つながる想い、5か年計画」
 4 月 例 会(737)「拡大の意識を高め、JC運動を広めよう！」
 6 月 例 会(739)「伝える力、コミュニケーション能力UP講座」
 10月例会(743)「さあいこう！45周年！」

2024年度、45周年準備【拡大】委員会では、2025年度に迎える45周年に向けて、式典や記念事業の準備に加え、先般掲げられた5か年計画の検証を行い、次の5か年計画に向けた事業を展開してまいりました。一年間、ご協力いただきありがとうございました。
当委員会では、例会企画、メンバーの拡大運動、オープン委員会の設営を通じて、周年事業の成功に向けた基盤づくりに取り組みました。

2月例会

第35代以降の歴代理事長である谷田貝歴代、紫藤歴代、松本歴代、矢島歴代、新田見歴代、野澤歴代にご協力いただき、5か年計画や記念式典の意義、運営について質問形式で伺いました。参加メンバーにとって、先輩から直接話を聞く機会となり、周年事業の理解を深める有意義な場となりました。後半はグループワーク形式で、委員長経験時の企画運営に関する意見を共有しました。

4月例会

安藤和広先輩を講師にお迎えし、拡大運動の必要性や具体的な方法について学ぶ例会を実施しました。例会で学んだ内容を早速実践したメンバーもあり、拡大運動への意識向上が図られました。

6月例会

メンバー一人ひとりが拡大運動を意識し、行動に移すことを目的とした例会を開催しました。4月例会の学びを生かした行動が見られ、実際に候補者が入会する成果も得られました。

10月例会

本番を想定した模擬式典をホールで実施しました。委員会でイメージを共有しながら設営を進め、過去資料や他 LOM の事例を参考に準備を行いました。この活動を通じて多くの学びを得ることができ、2025年度に向けた大きな成果となりました。

2024年度、委員会名の通り、45周年を迎えるべく全力で活動してまいりました。至らぬ点多々ありましたが、先輩方やメンバーの温かいご協力のおかげで、例会やオープン委員会を無事運営することができました。心より感謝申し上げます。

監事報告

監事 中島 慎一郎

中嶋啓一朗理事長が掲げる「承継 想いを受継ぎ未来へつなく」の実現に向けて、私自身としては2回目となる監事の役をいただきました。監事はLOMの最後の砦と2022年度に行われた監事セミナーで学び、この1年間はそうした意識を持って臨みました。経験が少ないメンバーが増えたことで、過去に比べて議案の精度は決して高くない状況が続いています。スタッフ会議や理事会では、私自身が委員長や副理事長を担っていた時に先輩から指摘されて学んだことを伝えました。議案においては、予算書や誤字脱字の基本的なことは勿論ですが、何より背景と目的が大切であることを伝えたいと思って意見をしました。

さてこの1年を通じて、議案の精度が徐々に高くなり理事メンバーを中心に成長したと感じています。何よりメンバーのモチベーションが高くなっていることが素晴らしい傾向です。議案の精度や例会が成功することも重要ですが、その運動ベースとしてメンバーが楽しく活動できているかどうかは、何より大切であると思います。中嶋理事長を筆頭に理事メンバーがフロアメンバーを巻き込めていたからだと思います。それが新しく入会したメンバーに伝わるという好循環が生まれています。メンバー数は概ね横ばいの状況が続いていますが、若いメンバーが楽しそうに活動できていることが比企青年会議所の希望です。

2022年度に初めて引き受けた監事の時は、もう一つ広い視野で比企青年会議所に携われたと思います。勿論、監事としてまだまだ至らない点は多くあります。しかしながら、これまで学んできたことを次の世代に伝えていきたいと思います。それがきっと私の成長に繋がると確信しています。そうした気付きを与えてくれたメンバーに感謝申し上げます。1年間、ありがとうございました。

監事報告

公益社団法人比企青年会議所

監事 中嶋亮順

本年は、中嶋啓一朗理事長のもと「承継～想いを受継ぎ未来へつなぐ」とスローガンを掲げ運動を行い、すべての事業が予定どおりに実施された。

監事としての主たる職務は大きく2つに分けられる。1つは定款に基づき会の運営がなされているか監査することと、もう1つは会計が適切に執行されているか監査することである。この主たる職務以外に、自身が監事の職に至るまでに培った経験から、理事ではない外部の立場において理事会の運営に携わることがあるだろう。以下、上記職務について昨年と同様に報告を行うものとする。

会の運営について、定款に基づいた運営が概ね適切になされていた。昨年指摘した事項であるが、現状の定款と運営の実情に齟齬がある部分もあるため、いずれかの機会に見直す必要があるだろう。

会計について、監査報告のとおり適切な収入、支出であったことを報告するものである。本年に限ったことではないが、公益事業費の全体に占める比率が基準を満たしているものの低い割合であった。近年、事業規模が縮小化しているなかではあるが、適切に公益事業を行えるよう予算配分には気を配りたいところである。

事業とは直接関係ないことではあるが、本年は法人格の見直しについて検討が開始された。これまで、我々の公益社団法人という法人格については、会計の問題点が議論されたきた。その会計面においては県庁等への確認の結果、一般社団法人への以降については大きな問題はなく行えるようである。会計面での問題が解消されつつある今、もう一度考えていただきたいのが、我々はなにをする団体なのか、ということである。まちづくりという社会貢献をするのか、会員の資質向上をはかるのか、親睦をはかる場所なのか、おそらく正解はないのだろう。いずれにせよ、漫然と日々の活動をするのではなく、自身が起こす運動を意識し、それを反映した行動を取る必要があることを心得ていただきたい。

結びとして、本年ともに歩みを進めてきた皆様に感謝申し上げるとともに、2年間の監事の職責を果たさせていただいたことに御礼申し上げます。これまでの44年間の歩みを承継し、想いのある未来への物語が紡がれることを願い、監事報告に代えさせていただきます。

2024年度 例会・事業報告

開催日	例会回数	担当委員会	例会名	出席率
1月31日	734	総務広報委員会	1月第一例会 第一回通常総会	72.2%
2月22日	735	45周年準備【拡大】委員会	2月第一例会 つながる想い、5か年計画	50.0%
3月17日	736	比企プライド委員会	3月第一例会 比企最高！地域の魅力をダブル発信だんべ！	84.2%
4月19日	737	45周年準備【拡大】委員会	4月第一例会 拡大の意識を高め、JC運動を広めよう！	60.0%
5月26日	738	総務広報委員会	5月第一例会 唱和でメンバーの心を一つにしよう！	61.9%
6月21日	739	45周年準備【拡大】委員会	6月第一例会 伝える力、コミュニケーション能力UP講座	57.1%
7月21日 7月22日	740	比企プライド委員会	7月第一例会 比企最高！第37回JC旗争奪比企選抜少年サッカー大会	71.4%
8月18日	741	総務広報委員会	8月第一例会 第二回通常総会	68.2%
9月28日	742	比企プライド委員会	9月第一例会 比企最高！有機野菜とカシラ肉～風を呼ぶ比企カレー大作戦	68.2%
10月24日	743	45周年準備【拡大】委員会	10月第一例会 さぁいこう！45周年！	59.1%
11月2日 ～11月4日	744	比企プライド委員会	11月第一例会 比企最高！	72.7%
12月8日	745	総務広報委員会	12月第一例会 第三回通常総会	66.7%

例会出席率

氏名	794	795	796	797	798	799	740	741	742	743	744	745	出席回数	例会日数	出席率
1 理事長	中嶋 隆一郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	12	100.0%
2 副理事長	佐藤 志義	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	11	12	91.7%
3 監事	中島 慎一郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	11	12	91.7%
4 監事	牛嶋 亮順	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	11	12	91.7%
5 副理事長	山口 重典	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	12	100.0%
6 副理事長	村上 祐	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	2	12	16.7%
7 総務広報委員会 委員長	宮下 利信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	12	100.0%
8 総務広報委員会 副委員長	関根 美沙	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	2	12	16.7%
9 総務広報委員会	横田 大樹	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	3	12	25.0%
10 総務広報委員会	山上 出実				○	○	×	○	○	×	○	○	6	12	50.0%
11 総務広報委員会	池田 光弘					○	×	○	○	○	○	○	7	12	58.3%
12 総務広報委員会	宮下 隼平											×	0	12	0.0%
13 総務広報委員会	梶谷 尚也											×	0	12	0.0%
14 比企プラ小委員会 委員長	横村 謙治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	12	100.0%
15 比企プラ小委員会 副委員長	南田 謙二	×	×	○	○	×	○	○	×	○	×	○	7	12	58.3%
16 比企プラ小委員会	小沢 深治	○	×	○	○	○	×	○	×	○	×	×	7	12	58.3%
17 比企プラ小委員会	横田 前登	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	9	12	75.0%
18 比企プラ小委員会	青木 謙二	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	10	12	83.3%
19 47周年準備(仮)委員会 委員長	小宮 弘太	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	12	100.0%
20 47周年準備(仮)委員会 副委員長	神嶋 博	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	6	12	50.0%
21 47周年準備(仮)委員会	古野 貴章	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	2	12	16.7%
22 47周年準備(仮)委員会	松嶋 竜次	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	1	12	8.3%
23 47周年準備(仮)委員会	藤井 真			○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	12	83.3%
24 47周年準備(仮)委員会	松野 幸雄							×	×	×	×	×	0	12	0.0%
25												×	0	12	0.0%
26												○	0	12	0.0%
27 副理事長	野澤 隼	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	10	12	83.3%
	オプザーバー	2	1	1	0	0	10	0	0	3	0	0			
	正会員出席数	13	9	16	12	12	12	15	15	15	13	16			
	正会員出席率	72.2%	50.0%	88.9%	66.7%	61.9%	67.1%	71.4%	85.7%	85.7%	79.1%	72.2%			66.7%

－第2号議案－

公益社団法人 比企青年会議所

2024年度決算（案）

承認に関する件

項目	2019年12月31日	2018年12月31日	金額	備註
現金及現金等價物	1,000,000	1,000,000	1,000,000	
短期存款	100,000	100,000	100,000	
應收票據	100,000	100,000	100,000	
應收帳款	100,000	100,000	100,000	
其他應收帳款	100,000	100,000	100,000	
預付帳款	100,000	100,000	100,000	
其他資產	100,000	100,000	100,000	
總資產	1,500,000	1,500,000	1,500,000	
短期存款	100,000	100,000	100,000	
應付帳款	100,000	100,000	100,000	
其他應付帳款	100,000	100,000	100,000	
總負債	300,000	300,000	300,000	
資本及公積金	1,200,000	1,200,000	1,200,000	
實收資本	1,000,000	1,000,000	1,000,000	
公積金	200,000	200,000	200,000	
總權益	1,200,000	1,200,000	1,200,000	
總計	1,500,000	1,500,000	1,500,000	

2024年度 委員会事業収支決算書 (案)

(単位：円)

(単位：円)

委員会名	例会・事業名	収支決算(12月31日時点)				補正収支予算(11月25日現在)			
		本会計より	登録料収入	その他収入	合計	本会計より	登録料収入	その他収入	合計
総務広報委員会	第1回例会	0	0	0	0	0	0	0	0
	第2回例会	0	0	0	0	0	0	0	0
	第3回例会	0	0	0	0	0	0	0	0
	第4回例会	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	5,000	0	0	5,000	5,000	0	0	5,000
	委員会合計	5,000	0	0	5,000	5,000	0	0	5,000
比企プライド委員会	第1回例会	263,677	0	0	263,677	263,677	0	0	263,677
	第2回例会	173,561	48,000	0	221,561	173,561	48,000	0	221,561
	第3回例会	110,610	31,500	0	142,110	137,000	30,000	0	167,000
	第4回例会	273,910	0	0	273,910	289,000	0	0	289,000
	会議費	5,000	0	0	5,000	5,000	0	0	5,000
	委員会合計	826,758	79,500	0	906,258	868,238	78,000	0	946,238
45周年準備委員会	第1回例会	31,846	0	0	31,846	31,846	0	0	31,846
	第2回例会	12,044	0	0	12,044	12,044	0	0	12,044
	第3回例会	311,430	20,000	0	331,430	311,430	20,000	0	331,430
	第4回例会	43,418	0	0	43,418	42,000	0	0	42,000
	会議費	5,000	0	0	5,000	5,000	0	0	5,000
	委員会合計	403,738	20,000	0	423,738	402,320	20,000	0	422,320
	小計	1,235,496	99,500	0	1,334,996	1,275,558	98,000	0	1,373,558
一般管理費									
総務広報社大委員会	理事変更登記	25,341	0	0	25,341	25,341	0	0	25,341
	J C会館維持費	0	0	0	0	0	0	0	0
	賀詞交歓会通信費	49,118	0	0	49,118	61,200	0	0	61,200
	WEB運営費	19,800	0	0	19,800	19,800	0	0	19,800
	委員会合計	94,259	0	0	94,259	106,341	0	0	106,341
	小計	94,259	0	0	94,259	106,341	0	0	106,341
総合計		1,329,755	99,500	0	1,429,255	1,381,899	98,000	0	1,479,899
会議費計		15,000	各委員会の会議費、3回の総会		15,000	各委員会の会議費、3回の総会			

2024年度 特別準備金 収支決算書 (案)

(単位：円)

収入の部		2024年度	2024年度	増 減	摘 要
大 科 目	中 科 目	収支決算 (12月31日現在)	修正収支予算書 (11月25日現在)		
繰入金収入	特別準備金繰入金収入	0	0	0	
	計	0	0	0	
委員会事業 会計収入 (負担金収入)	委員会事業会計収入	0	0	0	
	委員会事業参加費収入	0	0	0	
	計	0	0	0	
広告料収入	広告料収入	0	0	0	
	計	0	0	0	
補助金収入	補助金収入	0	0	0	
	計	0	0	0	
寄付金収入	寄付金収入	0	0	0	
	計	0	0	0	
雑収入	受取利息	100	100	0	
	計	100	100	0	
当期収入計	当期収入計	100	100	0	
前期繰越収支差額	前期繰越収支差額	1,296,148	1,296,148	0	
収入合計		1,296,248	1,296,248	0	

支出の部		2024年度	2024年度	増 減	摘 要
大 科 目	中 科 目	収支決算 (12月31日現在)	修正収支予算書 (11月25日現在)		
特別事業	記念式典	0	0	0	
	記念事業	0	0	0	
	式典記念誌等	0	0	0	
	計	0	0	0	
当期支出計	当期支出計	0	0	0	
次期繰越収支差額		1,296,248	1,296,248	0	
支出合計		1,296,248	1,296,248	0	

2024年度 修繕積立金 収支決算書 (案)

(単位：円)

収入の部		2024年度	2024年度	増 減	摘 要
大 科 目	中 科 目	収支決算 (12月31日現在)	修正収支予算 (11月25日現在)		
繰入金収入	繰入金収入	0	0	0	
	計	0	0	0	
雑収入	受取利息	53	53	0	
	計	53	53	0	
当期収入合計	当期収入計	53	53	0	
前期繰越収支差額	前期繰越収支差額	695,221	695,221	0	
収入合計		695,274	695,274	0	

支出の部		2024年度	2024年度	増 減	摘 要
大 科 目	中 科 目	収支決算 (12月31日現在)	修正収支予算 (11月25日現在)		
積立金取崩金	J C 会館修繕費	0	0	0	
	計	0	0	0	
当期支出合計	当期支出合計	0	0	0	
当期収支差額	当期収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	次期繰越収支差額	695,274	695,274	0	
支出合計		695,274	695,274	0	

什器備品明細書

(単位：円)

	品名・規格	数量	購入日付	取得原価	残存価格
1	電話回線	1 式		72,800	72,800
2	書庫	1 台		46,000	0
3	例会用具入れ	1 組		20,000	0
4	JC旗セット	1 組		40,000	0
5	新宣言旗	1 式		10,000	0
6	プレジデンシャルリース	1 式		113,400	0
7	ルームクーラー	1 台		(寄付)	
8	ファンヒーター	1 台		(寄付)	
9	テント	1 式		(寄付)	
10	野球部ユニフォーム	1 式		(寄付)	
11	デジタルビデオカメラ	1 台		(寄付)	
12	プロジェクター・スクリーン	1 式		200,000	0
13	デジタルカメラ	1 台		45,150	0
14	きぐるみ (ヒッキー)	1 式		(寄付)	
15	コピー・ファックス複合機	1 台		(寄付)	
16	デジタルプロジェクター	1 台		(寄付)	
17	ホワイトボード	1 台		(寄付)	
18	バックボード	1 台		(寄付)	
19	ワイヤレスマイク・スピーカー	1 台		(寄付)	
	合計				72,800

公益社団法人比企青年会議所 財産目録

2024年12月31日

(単位:円)

資産の部			
【流動資産】	《一般会計の部》		
	(手元現金有り高)		1,486,752
	《修繕積立金の部》		
	埼玉りそな銀行東松山店		695,274
	《周年積立金(45周年)》		
	埼玉りそな銀行東松山店		1,296,248
【固定資産】	《什器備品》		
	別紙のとおり		72,800
	資産の部合計		3,551,074
負債の部			
【流動負債】			0
【固定負債】			0
	負債の部合計		0
資本の部			
【正味財産】	資産の部合計		3,551,074
	負債・資本の部合計		3,551,074

監査報告

公益社団法人比企青年会議所

理事長 中嶋 啓一朗 殿

私どもは、定款第3章第17条第6項に従い、公益社団法人比企青年会議所の2024年1月1日から2024年12月31日までの2024年度の事業年度の事業及び財産状況を監査いたしました。その結果、前期事業報告書及び計算書のとおり相違ない事を認めます。

2024年12月31日

公益社団法人比企青年会議所

監事

中島 慎一郎

監事

中嶋 亮 慎



－第3号議案－

公益社団法人 比企青年会議所
2025年度修正収支予算（案）
承認に関する件

**個人事業主
一般所得計算文字書 ⑥**

※ 個人事業主の一般所得計算文字書 ⑥

項目	収入金額	控除金額	課税金額	備考
I 給与所得				
1 給与収入金額	0	0	0	
2 給与控除金額	0	0	0	
II 雑所得				
1 雑収入金額	0	0	0	
2 雑控除金額	0	0	0	
III 退職所得				
1 退職収入金額	0	0	0	
2 退職控除金額	0	0	0	
IV 不動産所得				
1 不動産収入金額	0	0	0	
2 不動産控除金額	0	0	0	
V 事業所得				
1 事業収入金額	0	0	0	
2 事業控除金額	0	0	0	
VI 雑所得				
1 雑収入金額	0	0	0	
2 雑控除金額	0	0	0	
VII 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
VIII 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
IX 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
X 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XI 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XII 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XIII 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XIV 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XV 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XVI 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XVII 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XVIII 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XIX 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XX 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XXI 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XXII 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XXIII 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XXIV 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XXV 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XXVI 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XXVII 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XXVIII 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XXIX 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XXX 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XXXI 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XXXII 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XXXIII 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XXXIV 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XXXV 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XXXVI 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XXXVII 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XXXVIII 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XXXIX 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XL 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XL 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	
XL 総合課税所得				
1 総合課税収入金額	0	0	0	
2 総合課税控除金額	0	0	0	

2025年度 委員会事業修正収支予算書(案)

(単位：円)

(単位：円)

委員会名	例会・事業名	修正収支予算書 (1月10日時点)				当初予算			
		本会計より	登録料収入	その他収入	合計	本会計より	登録料収入	その他収入	合計
ザ・総務広報社大委員会	第1回例会	0	0	0	0	0	0	0	0
	第2回例会	0	0	0	0	0	0	0	0
	第3回例会	0	0	0	0	0	0	0	0
	第4回例会	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	5,000	0	0	5,000	5,000	0	0	5,000
	委員会合計	5,000	0	0	5,000	5,000	0	0	5,000
木末創造委員会	第1回例会	0	0	0	0	0	0	0	0
	第2回例会	0	0	0	0	0	0	0	0
	第3回例会	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	5,000	0	0	5,000	5,000	0	0	5,000
		委員会合計	5,000	0	0	5,000	5,000	0	0
比企子ども木末委員会	第1回例会	67,000	48,000	0	115,000	67,000	48,000	0	115,000
	会議費	5,000	0	0	5,000	5,000	0	0	5,000
		委員会合計	72,000	48,000	0	120,000	72,000	48,000	0
Grows委員会	第1回例会	70,000	0	0	70,000	70,000	0	0	70,000
	会議費	5,000	0	0	5,000	5,000	0	0	5,000
		委員会合計	75,000	0	0	75,000	75,000	0	0
事業部会	第1回例会	1,700,000	30,000	0	1,730,000	1,700,000	30,000	0	1,730,000
	第2回例会	173,000	0	0	173,000	173,000	0	0	173,000
	会議費	5,000	0	0	5,000	5,000	0	0	5,000
		委員会合計	1,878,000	30,000	0	1,908,000	1,878,000	30,000	0
記念式典部会	第1回例会	0	0	0	0	0	0	0	0
	第2回例会	360,000	0	0	360,000	360,000	0	0	360,000
	会議費	5,000	0	0	5,000	5,000	0	0	5,000
		委員会合計	365,000	0	0	365,000	365,000	0	0
	小計	2,400,000	78,000	0	2,478,000	2,400,000	78,000	0	2,478,000
一般管理費									
ザ・総務広報社大委員会	理事変更登記	25,000	0	0	25,000	25,000	0	0	25,000
	J C 会館維持費	65,000	0	0	65,000	65,000	0	0	65,000
	質問文獻会通信費	61,200	0	0	61,200	61,200	0	0	61,200
	WEB運営費	30,000	0	0	30,000	30,000	0	0	30,000
		委員会合計	181,200	0	0	181,200	181,200	0	0
	小計	181,200	0	0	181,200	181,200	0	0	181,200
総合計		2,506,200	48,000	0	2,659,200	2,506,200	48,000	0	2,659,200
会議費計		30,000	各委員会の会議費、3回の総会		30,000	各委員会の会議費、3回の総会			

2025年度 修繕積立金 修正収支予算書 (案)

(単位：円)

収入の部		2025年度	2025年度	増 減	摘 要
大 科 目	中 科 目	修正収支予算 (1月10日時点)	当初 予算		
繰入金収入	繰入金収入	0	0	0	
	計	0	0	0	
雑収入	受取利息	100	100	0	
	計	100	100	0	
当期収入合計	当期収入計	100	100	0	
前期繰越収支差額	前期繰越収支差額	695,274	695,227	47	
収入合計		695,374	695,327	47	

支出の部		2025年度	2024年度	増 減	摘 要
大 科 目	中 科 目	修正収支予算 (1月10日時点)	当初 予算		
積立金取崩金	J C 会館修繕費	0	0	0	
	計	0	0	0	
当期支出合計	当期支出合計	0	0	0	
当期収支差額	当期収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	次期繰越収支差額	695,374	695,327	47	
支出合計		695,374	695,327	47	

2025年度 特別準備金 修正収支予算書 (案)

(単位:円)

収入の部		2025年度	2025年度	増 減	摘 要
大 科 目	中 科 目	修正収支予算 (1月10日時点)	当初 予算		
繰入金収入	特別準備金繰入金	0	0	0	
	計	0	0	0	
委員会事業 会計収入 (負担金収入)	委員会事業会計収入	0	0	0	
	委員会事業参加費収入	0	0	0	
	計	0	0	0	
広告料収入	広告料収入	0	0	0	
	計	0	0	0	
補助金収入	補助金収入	0	0	0	
	計	0	0	0	
寄付金収入	寄付金収入	0	0	0	
	計	0	0	0	
雑収入	受取利息	188	188	0	
	計	188	188	0	
当期収入計	当期収入計	188	188	0	
前期繰越収支差額	前期繰越収支差額	1,296,248	1,296,154	94	
収入合計		1,296,436	1,296,342	94	

支出の部		2025年度	2025年度	増 減	摘 要
大 科 目	中 科 目	修正収支予算 (1月10日時点)	当初 予算		
特別事業	記念式典	360,000	360,000	0	
	記念事業	780,000	780,000	0	
	式典記念誌等	150,000	150,000	0	
	計	1,290,000	1,290,000	0	
当期支出計	当期支出計	1,290,000	1,290,000	0	
次期繰越収支差額		6,436	6,342	94	
支出合計		1,296,436	1,296,342	94	